

令和7年 第3回 区づくり推進横浜市会議員会議（青葉区）

次 第

日 時 令和7年9月10日（水）
10時00分 ～ 11時20分

1 開会

2 座長の選出

3 区長あいさつ

4 議事

- (1) 「令和6年度 個性ある区づくり推進費 決算」について ……資料1
- (2) 「令和7年度 個性ある区づくり推進費 執行状況」について ……資料2
- (3) 「令和8年度 青葉区予算編成の基本的な考え方（案）」について ……資料3

5 閉会

令和6年度 個性ある区づくり推進費 決算総括表

資料 1

1 区分別総括

(単位:円)

	当初予算額	現計予算額	決算額	差 引
自主企画事業費	106,713,000	106,713,000	103,240,682	3,472,318
統合事務事業費	49,227,000	49,227,000	46,554,931	2,672,069
統合事務費	25,969,000	25,969,000	23,574,098	2,394,902
統合事業費	23,258,000	23,258,000	22,980,833	277,167
施設管理費	852,551,000	857,495,000	863,503,228	▲ 6,008,228
合 計	1,008,491,000	1,013,435,000	1,013,298,841	136,159

(単位:円)

令和6年度歳入		
予算	決算	差引
1,650,000	1,450,720	199,280
2,983,000	4,238,749	▲ 1,255,749
240,000	240,000	0
2,743,000	3,998,749	▲ 1,255,749
25,204,641	22,330,934	2,873,707
29,837,641	28,020,403	1,817,238

2 内訳

(1) 自主企画事業費

(単位:円)

	当初予算額	現計予算額	決算額	差 引
1 誰もが安心して出産や育児ができるまち・すべての子どもたちの未来を創るまちづくり	19,049,000	19,049,000	16,243,921	2,805,079
2 誰もが健やかに暮らし、いきいきと活躍できるまち	28,459,000	28,459,000	24,034,929	4,424,071
3 便利で魅力的な選ばれるまち	20,812,000	20,812,000	26,974,964	▲ 6,162,964
4 いつまでも愛着を持って過ごせるまち	17,941,000	17,941,000	17,873,752	67,248
5 将来の世代にわたり安全・安心に暮らせるまち	20,452,000	20,452,000	18,113,116	2,338,884
合 計	106,713,000	106,713,000	103,240,682	3,472,318

(2) 統合事務事業費

(単位:円)

	当初予算額	現計予算額	決算額	差 引
統合事務費	25,969,000	25,969,000	23,574,098	2,394,902
統合事業費	23,258,000	23,258,000	22,980,833	277,167
合 計	49,227,000	49,227,000	46,554,931	2,672,069

(3) 施設管理費

(単位:円)

	当初予算額	現計予算額	決算額	差 引
区庁舎等管理費	171,932,000	171,932,000	180,077,392	▲ 8,145,392
土木事務所管理費	9,794,000	9,794,000	10,492,941	▲ 698,941
公会堂管理費	40,386,000	40,458,000	39,363,856	1,094,144
地区センター等管理費	220,976,000	223,936,000	225,462,672	▲ 1,526,672
スポーツ会館	7,202,000	7,307,000	7,307,000	0
ログハウス管理費	10,039,000	10,224,000	10,423,650	▲ 199,650
区民文化センター管理費	159,000,000	159,453,000	159,453,000	0
老人福祉センター管理費	39,560,000	39,809,000	39,449,000	360,000
コミュニティハウス管理費	114,343,000	115,166,000	115,166,000	0
区スポーツセンター管理費	35,337,000	35,434,000	33,483,236	1,950,764
区庁舎・区民利用施設修繕費	7,442,000	7,442,000	3,799,576	3,642,424
その他	36,540,000	36,540,000	39,024,905	▲ 2,484,905
合 計	852,551,000	857,495,000	863,503,228	▲ 6,008,228

令和6年度 自主企画事業費 体系別一覧

合計33事業 単位：円

		予算額	決算額	差 引	ページ
1 誰もが安心して出産や育児ができるまち・すべての子どもたちの未来を創るまちづくり		19,049,000	16,243,921	2,805,079	5
1	乳幼児健康づくり事業	2,320,000	2,233,912	86,088	5
2	子育て支援事業	9,606,000	8,532,835	1,073,165	5
3	市立保育所の地域育児支援事業	3,570,000	2,043,779	1,526,221	8
4	青少年育成事業	806,000	805,040	960	9
5	障害児支援事業	416,000	414,845	1,155	10
6	児童虐待・DV対策事業	2,331,000	2,213,510	117,490	10
2 誰もが健やかに暮らし、いきいきと活躍できるまち		28,459,000	24,034,929	4,424,071	11
1	青葉区健康長寿のまちづくり支援事業	2,672,000	2,576,855	95,145	11
2	地域福祉保健推進事業	2,593,000	1,275,355	1,317,645	12
3	地域包括ケアシステムの推進	2,020,000	1,888,000	132,000	13
4	障害者ふれあい事業	1,090,000	1,090,000	0	16
5	快適で衛生的な暮らし支援事業	1,006,000	905,381	100,619	17
6	自治会町内会支援事業	2,141,000	1,955,554	185,446	19
7	あおば地域サポート事業	2,565,000	1,119,083	1,445,917	19
8	地域スポーツ振興事業	4,200,000	3,892,400	307,600	20
9	芸術文化振興事業	6,543,000	5,837,618	705,382	21
10	区民活動支援センター事業	3,629,000	3,494,683	134,317	23
3 便利で魅力的な選ばれるまち		20,812,000	26,974,964	▲ 6,162,964	25
1	商店街活性化・中小企業振興事業	2,045,000	1,718,210	326,790	25
2	まちづくり・データ活用推進事業	2,529,000	2,225,090	303,910	26
3	青葉6大学連携事業	905,000	760,225	144,775	27
4	地域での読書活動推進事業	1,399,000	1,098,280	300,720	27
5	広報・広聴事業	2,768,000	2,771,180	▲ 3,180	28
6	区民サービス向上事業	2,214,000	2,333,619	▲ 119,619	29
7	利用しやすい区役所づくり事業	8,952,000	16,068,360	▲ 7,116,360	30
4 いつまでも愛着を持って過ごせるまち		17,941,000	17,873,752	67,248	30
1	区制30周年記念事業	3,003,000	3,011,190	▲ 8,190	30
2	青葉区民まつり事業	5,803,000	6,034,600	▲ 231,600	31
3	花と緑があふれる街事業	1,224,000	1,064,031	159,969	31
4	青葉区における都市農業の展開	2,650,000	2,546,803	103,197	32
5	メディアによる広報事業	5,261,000	5,217,128	43,872	33
5 将来の世代にわたり安全・安心に暮らせるまち		20,452,000	18,113,116	2,338,884	34
1	郊外部における脱炭素化の促進	1,800,000	1,557,770	242,230	34
2	青葉まちの美化推進事業	2,994,000	2,810,880	183,120	35
3	地域防犯支援事業	1,516,000	1,244,690	271,310	37
4	交通安全対策事業	5,860,000	5,129,266	730,734	37
5	青葉区防災の街づくり事業	8,282,000	7,370,510	911,490	38
合計		106,713,000	103,240,682	3,472,318	—

1 誰もが安心して出産や育児ができるまち・すべての子どもたちの未来を創るまちづくり		
1 乳幼児健康づくり事業 福祉保健課	予 算	2,320,000円
	決 算	2,233,912円
	差 引	86,088円
<p>乳幼児期からの健康づくりを支援するため、う蝕（むし歯）予防及び乳幼児期の食育についての教室・講座を行いました。</p> <p>(1) ニコニコピカピカ歯みがき教室 乳幼児のう蝕予防に対する知識を普及するため、歯みがき指導・個別相談を行いました。 ・回数：18回、参加者：延べ214組、場所：福祉保健センター、子育て支援拠点、地域ケアプラザ</p> <p>(2) 乳幼児の食育支援事業 乳幼児のころからの「食」を通した健康づくりの普及を図りました。講座を開催し、正しい情報を入手してより良い食行動に結びつくよう支援し、参加者にはリーフレットを配付しました。（食育リーフレットの改訂・印刷：3,000部） ・離乳食スタート講座（4か月～6か月児）：年24回、延べ1,731組 ・離乳食教室の実施（7か月～9か月児）：年12回、延べ166組 ・離乳完了～幼児食の移行講座（1歳～2歳児）：年33回、延べ1,783組 ・幼児食育講座（3歳～5歳児）：年34回、延べ2,003組</p>		
2 子育て支援事業 こども家庭支援課	予 算	9,606,000円
	決 算	8,532,835円
	差 引	1,073,165円
<p>子育て世代が多い青葉区の特性を踏まえ、地域での子育て支援の充実を図りました。</p> <p>(1) つながりミーティング 地域における切れ目のない子育て支援の推進に向け、妊娠期から青少年期までの各分野における子育ての現状・課題や、それぞれの取組について共有する場を設けました。 ・1回目：6月17日、21人、2回目：3月7日、21人</p> <p>(2) 赤ちゃん教室 区内18会場で専門職による講話・指導を行い、地域での仲間づくりの機会の提供と初めての子育てに戸惑う保護者の支援を行いました。 ・回数：180回（月1回（8月、1月を除く）×18会場）、参加者：延べ1,795組、場所：地区センター、地域ケアプラザ、自治会館等区内18会場、対象：青葉区在住の第1子の0歳児とその保護者及び妊婦</p>		

(3) 地域子育て情報提供

子育て情報提供員が区内の子育て情報を区民の皆様に窓口にて提供しました。

- ・実施日数：243日、子育て情報提供員：毎週月曜日～金曜日（8:45～17:00）※休庁日を除く

(4) 赤ちゃん休憩室

地域のボランティアと協働で、市営地下鉄あざみ野駅構内のスペースに母子が休憩等で利用できる場を提供しました。

- ・利用者数：15人/日程度、開所時間：毎週月曜日～金曜日（10:00～16:00、祝日含む）※年末年始を除く
- ・場所：市営地下鉄あざみ野駅改札口前スペース

(5) 乳幼児健診ふれあい見守り保育

健診会場にてきょうだい児並びに受診対象者及びその保護者のサポート等を行いました。

- ・回数：91回、参加者：ボランティア延べ206人

(6) プレパパ・プレママクラス

出産前から両親共に必要な知識を得て産前産後のイメージができるようになることで、安心して子育てができるようプレパパ・プレママクラスを実施しました。

- ・回数：25回（平日：6回（場所：区役所）、土曜日：19回（場所：区役所6回、子育て支援拠点12回、奈良地区1回））

(7) 子育て支援ネットワーク連絡会

地域の特性を踏まえ、より身近な地域でのネットワークを構築しました。

ア 全体会

区全体の課題を共有しネットワークの構築を図りました。

- ・回数：3回（7月3日、9月4日、2月14日）、参加者：延べ33人

イ 地区別連絡会＜拡充＞

地区の特性を踏まえ、より身近な地域でのネットワークが構築できるよう11か所のエリアに分けて開催しました。また、連絡会の運営（11エリアすべて）やエリアごとの課題解決に向けたサポートについて、地域子育て支援拠点ラフルに一部委託しました。

- ・回数：12回、参加者：延べ206人（157団体）、場所：地域ケアプラザ

ウ 関係機関向け研修会：年1回

効果的なネットワーク構築の手法等を検討するため、講師による関係機関向けの研修機会を設けました。

- ・8月30日、参加者：31人

(8) こどもの育ち応援事業

養育者の育児不安を緩和し、見通しをもった育児ができ、こどもが健やかに育つことを目指して、養育者・支援者向けの講座と講演会を実施しました。

また、日本語でのコミュニケーションが困難な養育者とこどもを対象としたこんにちは赤ちゃん訪問を実施しました。

ア 親育ち講座

幼児期の発達に応じた親の関わり方の具体的な方法を学ぶ講座を開催しました。また、講座内容をまとめたリーフレットを乳幼児健診時等で配布し、より多くの養育者への普及啓発を図りました。

・回数：3回（7月7日、12月1日、2月14日）、参加者：延べ53人

イ 妊娠期からのメンタルヘルス講座

安心して出産・育児が出来るよう、妊娠中や産後の心の変化について精神科医から学ぶ講座を実施しました。また、妊娠期で体調がすぐれない場合でも気軽に受講できるようWeb形式で開催しました。

・7月18日、11月21日、参加者：延べ57人

ウ 子育て相談ひろば「にこにこ」＜新規＞

1歳6か月児健診時にこどもの発達に不安があった養育者を対象に、対面による相談の機会をつくり、その後の経過を確認し、必要な支援につなげました。また、家庭内でのより良好な関わりが持てるよう、遊びを通した発達の促し方等を紹介しました。

・回数：6回、参加者：延べ97組、対象：こどもの発達に不安がある概ね1歳9か月から2歳3か月までのこどもと養育者

エ 小児科医による講演会 ＜新規＞

安心して育児ができるよう地域の小児科医師から、こどもの病気や日常でおこりやすい事故、ケガの対処や予防などについて学ぶ講演会をWeb形式で開催しました。

・10月16日、参加者：195人、対象：0歳から3歳までのこどもを子育てしている方や妊婦の方

オ 30周年記念講演会 ＜新規＞ 30周年

区制30周年の一環として、子育て中の保護者の方やこどもの支援に携わっている方向けに「家族」をテーマにした記念講演をあざみ野アートフォーラムで実施しました。

・12月12日、参加者：約80人、テーマ：「家族のチカラ～あなたの家族の物語～」

カ 外国人パパママこんにちは赤ちゃん訪問

外国語を話せるボランティア等による訪問を実施しました。

・訪問件数：14件

(9) 子育て情報発信事業

子育て世代が地域とつながり、孤立することなく子育てできるよう、スマートフォンアプリによる情報発信を行いました。地域の子育てイベントや子育て関連制度・手当等を紹介するとともに、区からのプッシュ通知により乳幼児健康診査等に関する情報をお知らせしました。引き続き、乳幼児健診や保育

園等で広報を実施し、登録者数の増加を図りました。

- ・青葉区子育て情報発信アプリ「Aonico（あおにこ）」登録者数：4,211人（3月31日時点）

3 市立保育所の地域育児支援事業 こども家庭支援課

予 算	3,570,000円
決 算	2,043,779円
差 引	1,526,221円

市立保育所が、妊婦や在宅で子育てをしている乳幼児の保護者を中心に、時代に合わせた「つながり」を作る育児支援を実施し、子育ての不安や悩みの解消や家庭での育児力の向上を図りました。

(1) 保育園子育てスマイル事業

ア 園庭開放・育児講座

公立園の施設を地域に開放し、保育士及び保育ボランティアとの交流やノウハウの提供を通じて、地域における育児力の向上を図りました。

- ・園庭開放：美しが丘保育園 5日/週（のべ人数：保護者661人、未就学児670人）
 荏田保育園 5日/週（のべ人数：保護者518人、未就学児582人）
 奈良保育園 2～3日/週（のべ人数：保護者209人、未就学児139人）
 すすき野保育園 3日/週（のべ人数：保護者136人、未就学児144人）
- ・育児講座：12回（4園合計）

イ 育児相談・子育てトーク

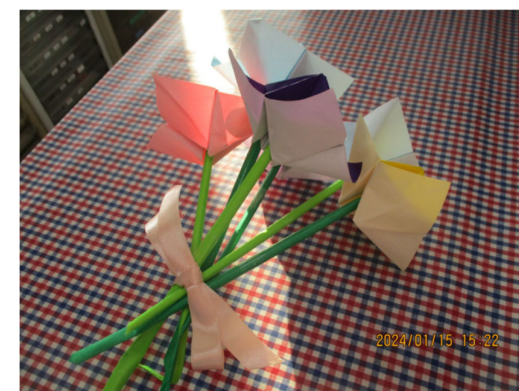
個別具体的な育児に対する悩みや不安の解消に向け、公立保育園での保育士との対面相談を行いました。

- ・育児相談：美しが丘保育園・荏田保育園 5日/週、奈良保育園・すすき野保育園 1日/週、件数：604件（対面：561件 電話：43件）

ウ 育児支援事業

Instagram「おかわりなしちゃんねる」にて、保育園の日常や家庭で役に立つ子育て情報、区内保育園の紹介等を月数回さまざまな内容で配信しました。これまで配信してきたYouTubeチャンネル「なしちゃんねる」を教材的に活用し、時代に則した育児支援イベントを開催することで、子育てを楽しみ、つながり合える環境整備を図りました。市立保育所だけでなく、民間保育園や区内施設等との連携を推し進め、地域で子育てを応援する体制の構築を図りました。

- ・Instagram「おかわりなしちゃんねる」の配信：59回
- ・育児支援イベント
 6月7日奈良地域ケアプラザ・参加者数：4組、7月26日すすき野地域ケアプラザ・参加者数：19組
 8月2日たまプラーザ地域ケアプラザ・参加者数：28組、
 10月17日青葉台東急スクエア・参加者数：36組、11月19日たまプラーザテラス・参加者数：39組



園児の作品イメージ

エ 保育所給食体験

地域の乳幼児が園児と一緒に保育園の給食を体験することにより、食を通じた乳幼児の健全育成を図りました。

・提供回数：32回、食数：64食、参加者：31組（4園合計）



青葉区公式 Instagram 「おかわりなしかちゃんねる」



NASHIKACHANNEL

子育て中の保護者の方向けに、保育園で人気の給食レシピや公立保育園の園庭開放、育児講座のお知らせ等を配信しています。保育園の紹介や保活に関する情報も随時更新しています。

(2) 30周年記念 Aonico プロジェクト＜新規＞ **30周年**

区制30周年の一環として、親子が歌やお話を通して知育を深め、交流する記念公演を実施しました。また市立保育所では、園庭開放に訪れた親子や地域で交流のある団体に子どもたちが制作した作品に花種を添えて配布し、30周年を盛り上げました。

- ・記念公演会「区政30周年 Aonico ひろば in たまプラーザテラス」：11月19日、参加者：39組
- ・子どもたちの作品・花種の配布実施：6～12月

4 青少年育成事業 こども家庭支援課

予 算	806,000円
決 算	805,040円
差 引	960円

学齢期・青年期に至るまで、切れ目のない支援体系を構築し、青少年育成の充実を図りました。
また、地域や施設における連携のもとでの支援を一層促進し、地域で青少年を見守る風土を醸成しました。

(1) 多世代交流等による青少年育成事業

青少年の地域活動拠点と連携し、中学生・高校生・大学生ボランティアによる小学生を対象とした学習支援「みんなの学習室」を実施し、小学生の多世代交流の機会を提供しました。

- ・回数：7～3月（夏休み、冬休み、春休み）に計30回、参加者：小学生205人、中高大学生ボランティア159人
- ・場所：青少年の地域活動拠点、地域ケアプラザ、地区センター等7か所

(2) 保護者向け講演会＜拡充＞

小1の壁の不安軽減につながる講演や参加者同士の交流を通じて、孤立しない子育て環境づくりを推進しました。

・9月16日、参加者：118人（会場56人（うちキッズ・学童体験39人）、zoom62人）

5 障害児支援事業 こども家庭支援課

予 算	416,000円
決 算	414,845円
差 引	1,155円

養育者や支援者を対象に発達面や知的・身体的に配慮が必要な児童に関する理解を進め、適切な支援につなぎました。また、「サポートファイル かけはし」や地域資源をまとめた「きらきらマップ」を活用し、養育者と支援者、関係機関、さらに地域も含め連携を深めました。

(1) 講演会などの啓発活動

養育者と支援者、学校や関係機関との連携を深め、発達障害に関する講演会等による啓発を行いました。

・12月12日、1月24日、参加者：延べ72人

また、「サポートファイル かけはし」の活用を進めました。

・配布場所：区役所（手帳交付時等）、基幹相談支援センター、地域療育センターあおば、あおば支援学校、医療的ケア児・者コーディネーター拠点等

(2) 地域資源マップ きらきらマップ

区内の障害福祉に関する相談窓口やサービス提供事業所等をまとめた冊子『あおばでくらす』と併用し、障害児とその保護者が、より地域とつながるきっかけが得られるよう、放課後等デイサービス等の地域資源（二次元コード付）を掲載したマップを改訂しました。

・部数：1,500部（3月発行）

6 児童虐待・DV対策事業 こども家庭支援課

予 算	2,331,000円
決 算	2,213,510円
差 引	117,490円

児童虐待やDVなど不適切養育を防止するため、児童虐待防止対策や女性福祉相談の支援を強化しました。

(1) 児童虐待防止対策事業

ア 保育施設職員向け研修会

養育不安、相談へ迅速・適切に対応できるよう、保育施設職員向け連絡会及び研修会を実施しました。

・10月28日、参加者：38人、テーマ：子どもと大人の関係性を温かくする「CAREプログラムに触れてみましょう」

- イ 支援強化検討会（区職員向け研修会）
虐待対応の専門性を高めるための研修会を実施しました。
・2月25日、参加者：40人、テーマ：面接技法（解決志向アプローチ等）

- ウ 見守り保育付き相談
相談等が気軽にできるよう、見守り保育を実施しました。
・回数：156回、対応件数：2,268件

(2) DV専門相談事業

- 女性福祉相談を受けた方のうち、法律的な相談が必要な場合にDVや離婚に詳しい弁護士による法律相談を実施し、DV被害者が抱える離婚や親権等の法律的問題について、専門的知見からの支援を行いました。
・回数：23回、対応件数：46回

2 誰もが健やかに暮らし、いきいきと活躍できるまち

1 青葉区健康長寿のまちづくり支援事業 福祉保健課

予 算	2,672,000円
決 算	2,576,855円
差 引	95,145円

「あおばに住んで、健康、長生き」を実感できるよう、区民の皆様が身近なところで気軽に実践できる健康づくりの取組を展開しました。

(1) 健康フェスティバル事業 **30周年**

- 保健医療・生活衛生関係団体を中心とする諸団体の参加による健康啓発イベントを開催しました。
・11月3日、参加者：延べ5,626人

(2) ウォーキング普及啓発事業＜拡充＞ **30周年**

保健活動推進委員会等と連携し、ウォーキングの普及啓発を行いました。

ア 地域での活動の企画・運営支援

(ア) 保健活動推進員向け研修

- ・1月30日、参加者：18人

(イ) 各地区での活動の企画・運営支援

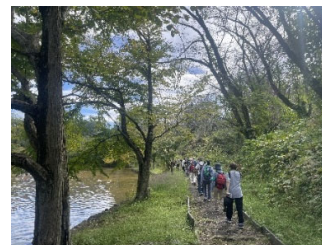
- ・ウォーキング部会における知識・技術の共有
・保健活動推進員ウォーキング部会研修（こどもの国歴史研修）
9月19日、参加者数：19人
・保健活動推進員ウォーキング部会
回数：6回

(ウ) 区制30周年記念ウォーキングイベント

- ・保健活動推進員と連携したウォーキングイベントの実施
10月19日、参加者：47人
- ・ウォーキングコースの作成：3,000部印刷

イ 区民向け情報提供ウォーキングマップの改訂・印刷

- ・20コース 35,000部



ウォーキングイベントの様子

(3) 食育推進普及啓発事業＜拡充＞ **30周年**

ア 食育啓発事業

健康づくりに役立つ、食を中心とした講習会及び啓発動画の作成を食生活等改善推進員会に委託して実施しました。

- ・講習会実施：8回、参加者：延べ644人
- ・動画作成：2本（視聴数：603回）

イ 区制30周年記念食育講演会

食の楽しさを通して「食」に関する知識及び「食」を選択する力の習得につなげるため、講演会を開催しました。

- ・6月26日、参加者：449人、テーマ：「こころとからだにやさしい元気ごはん～食卓からはじまる未来への第一歩～」

2 地域福祉保健推進事業 福祉保健課

予 算	2,593,000円
決 算	1,275,355円
差 引	1,317,645円

住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域と協働して課題解決に取り組み、身近な地域で支えあいの仕組みづくりを進めることを目的に策定した第4期青葉区地域福祉保健計画（青葉かがやく生き生きプラン）（3年度～7年度）を推進しました。また、第5期地域福祉保健計画の策定に向け、取組を進めました。

(1) 地域福祉保健推進会議

区内の福祉・保健・医療等の各分野の代表者及び学識経験者で構成し、青葉区の地域福祉保健関係事業の推進について幅広く協議するとともに、地域福祉保健計画の推進・評価に関して意見交換を行いました。

- ・3月24日

(2) 地域福祉保健計画推進部会＜拡充＞

青葉区地域福祉保健計画の推進に携わっている各種団体及び学識経験者で構成し、各地区別計画推進会議で進めている取組や課題となる事項等を共有するとともに、区域全体の取組や課題を検討しました。

- ・9月19日、2月26日

(3) 福祉保健活動事例発表会

青葉区地域福祉保健計画を広く周知するとともに、地区別計画における地区の取組事例の発表会を開催しました。

- ・12月5日、内容：市ケ尾地区、恩田地区による事例発表

(4) 地区サポートチーム研修＜拡充＞

青葉区地域福祉保健計画地区別計画の推進にあたり、地区サポートチームを対象とした研修会を実施しました。

- ・地区サポートチーム研修：第1回：6月24日、58人 第2回：2月28日、32人
- ・地区サポートチーム会議：各地区年3回以上実施

(5) 地域福祉保健計画の啓発・推進

第5期地域福祉保健計画の策定に向けた方向性の確認や骨子案策定、第4期の残り期間の取組の充実を意識し推進していきました。また、将来の地域の担い手として期待する若い世代に向けた地域福祉保健計画の啓発のため、「中学生版青葉区地域福祉保健計画」パンフレットを作成しました。

- ・中学生版パンフレット
中学生ができること（奈良中学校版パンフレット）：6月発行・配布
- ・第5期計画骨子策定：2月

(6) 青葉ふれあい見守り事業

概ね70歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯等への月1回程度の訪問や見守り活動を、地区民生委員が中心となり保健活動推進員等と協力して実施しました。

民生委員が欠員となっている地区の見守り活動に補助金を交付し、欠員地区を支援する近隣地区民生委員の負担軽減を図りました。

- ・対象世帯数：1,475世帯、訪問回数：19,339回
- ・代表者会議：2月5日
- ・欠員地区16地区（全298地区、令和7年3月末時点）、補助金申請：欠員16地区中12地区

3 地域包括ケアシステムの推進 高齢・障害支援課

予 算	2,020,000円
決 算	1,888,000円
差 引	132,000円

今後到来する超高齢社会においても、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、必要なサービスを切れ目なく提供するための「地域包括ケアシステム」の取組を推進しました。

(1) 高齢者支援事業

地域包括ケアシステムの推進を目的に、青葉区の特性を踏まえた高齢者の健康づくり・介護予防、医療・介護連携、認知症施策等を推進しました。

ア 医療・介護連携促進

医療と介護の連携促進を目的として、多職種による「顔の見える場づくり会議」を引き続き開催し、連携強化に向けた検討・情報共有を行いました
・回数：4回（5、9、12、3月）、参加者：区内医療・介護関係機関代表者等 21 団体、内容：多職種連携による支援のための情報共有 等

イ 認知症施策推進事業

認知症になっても安心して暮らすことができるまちを目指し、見守りネットワークの強化や啓発活動等を推進しました。

(ア) 青葉区高齢者安心ネットワーク

認知症に対する理解促進及び地域の見守り体制づくりの啓発を行いました。

- ・SOS リーフレット増刷：3,000 枚
- ・高齢者安心ネットワーク連絡会

5月30日、参加者：24人（地域包括支援センター、警察、消防、民児協、交通機関等）

(イ) 認知症支援・啓発活動の実施

「認知症サポーター」による身近な地域での見守り体制を広げるために、「認知症サポーター養成講座」において企画・実施・講師役等を務める「認知症キャラバンメイト」の活動を支援しました。また、キャラバンメイト同士の連携を深めるために、「キャラバンメイト連絡会」を開始しました。

- ・オレンジリング購入：1,200 個（学生向けのサポーター養成講座でオレンジリング配布）
- ・キャラバンメイト活動Tシャツ制作：100 枚、配布時期：7月



キャラバンメイトによるサポーター養成講座の様子

(2) シニアの社会参加推進事業

e スポーツを活用した高齢者の社会参加促進に向けた事業展開を行うとともに、かがやきクラブ青葉（青葉区老人クラブ連合会）の活性化を支援しました。

ア 高齢者向け e スポーツ事業 <拡充>

e スポーツを活用した高齢者の社会参加促進や居場所づくりを目的に、地域の各種団体や事業者等と連携し、e スポーツの周知啓発及び地域における実施に向けた具体的な検討を進めました。

- ・区施設職員向け体験会：1回（5月）、参加者 21 人
- ・区民向け体験会：7回（8～12月）、参加者延べ 93 人
- ・始め方講座：2回（5、12月）、参加者延べ 26 人
- ・区役所、ケアプラザを窓口とするゲーム機器の貸出：24 団体、延べ 40 回



e スポーツ体験会の様子（令和6年8月）

イ 高齢者生きがいづくり支援事業 30周年

「かがやきクラブ青葉」の活動支援を通じて、高齢者の生きがいづくりや仲間づくりを推進しました。

- ・シニアいきいき芸能大会：11月23日、参加者：41組 91人、観覧者：243人、場所：青葉公会堂

ウ 敬老祝品贈呈事業

区内最高齢者に区から祝状を贈呈しました（9月）。

- ・最高齢者：女性 108 歳 男性 103 歳、表敬訪問：区長・区社会福祉協議会会長・同事務局長
- ・区内 100 歳以上人数：238 人（女性 210 人/男性 28 人）

主な再配当事業 健康福祉局**(1) 介護予防事業**

- ・フレイル予防講演会：11 月 13 日、参加者 69 人
- ・データ活用研修会（健康と暮らしの調査（JAGES）開催）：9 月 24 日、参加者 38 人
- ・ハマトレキヤスト講座：1 コース 4 回（10 月～11 月実施）、参加者 11 人
- ・元気づくりステーション（29 団体）交流会：7 月 31 日、参加者 25 グループ 40 人

(2) 認知症支援事業

- ・もの忘れ相談：年 12 回、利用者 13 人、精神科嘱託医師による面接・訪問による相談の実施
- ・認知症初期集中支援チーム事業：横浜総合病院と連携した対象者支援、検討委員会の開催 等

(3) 医療・介護連携推進事業

- ・在宅医療・介護連携研修：12 月 12 日 参加者 55 人

(4) 市民の意思決定支援事業

- ・成年後見サポートネット：専門職・全体会議：6・10・1・2 月開催、参加者延べ 131 人
- ・市民後見サポートネット：11 月開催、参加者 40 人
- ・エンディングノート普及啓発：各地域ケプラザでの啓発講座支援
区民の意思決定支援に係る講演会：8 月 6 日、参加者 141 人

4 障害者ふれあい事業 高齢・障害支援課

予 算	1,090,000円
決 算	1,090,000円
差 引	0

当事者・支援者・地域の方々がつながることで適切な支援に結びつくよう、地域の支え合いによる障害者支援の充実及び障害者の社会参加を支援する事業を実施しました。

(1) 障害児者福祉普及啓発事業

障害福祉に関する普及啓発講演会・研修を実施しました。

ア 重症心身障害児者普及啓発講演会

重症心身障害児者や医療的ケアを必要とする方やご家族が、地域で安心して安全に暮らし続けることができるよう、当事者や家族の生活について理解を深めるための区民向け講演会を行いました。

- ・12月1日、参加者：37名、テーマ：「多様なすべての子どもたちがともに学び、お互いを認める社会を実現するために私たちが知っておきたいこと～インクルーシブ教育を中心に～」

イ 精神保健福祉講演会

精神疾患に対する理解促進を目的に、青葉区生活支援センターと共催で講演会を実施しました。

- ・11月6日、参加者 33名（会場：11名、オンライン22名）、テーマ：「社会的孤立を防ぐために～人の繋がりを取り戻すために地域でできること～」

ウ メンタルヘルスに関するパンフレットの作成 ＜新規＞

青葉区自立支援協議会精神部会では、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築を目指していました。その一環として、当事者のメンタルヘルスの悪化を早期予防するため、当事者に関わる人たちによる声掛けや見守りを促し、必要な時に相談機関へつながるように、パンフレットを作成し、配布しました。

- ・部数：1,000部、時期：12月～2月、
配架先：基幹相談支援センター、青葉区生活支援センター、江田記念病院、区内ケアプラザ、青葉6大学学生相談室、郵便局等

(2) 自主製品販売促進事業

障害者施設が作る自主製品販売の機会を拡大するため、区役所で展開する「ふれあいマルシェ」の周知を行うとともに、自主製品販売事業所の紹介冊子『青葉のモノ語り』の増刷を行いました。

- ・部数：2,000部、時期：3月



(3) 障害児者支援事業

障害児者が青葉区で生活・就労等をしやすくなることを目指し、区内の障害福祉に関する相談窓口やサービス提供事業所等をまとめた当事者向け冊子『あおばでくらす』を増刷しました。

ア ふれあい農園

障害者と区民ボランティアの農を通じた交流を支援しました。

・毎週木曜日、場所：農園所在地 下谷本、参加者：（月平均）35人（当事者 8～10人、ボランティア 28～30人）

イ 「あおばでくらす」増刷

・部数：2,000部、時期3月

主な再配当事業 精神保健福祉対策事業（健康福祉局）

- ・精神保健相談：年36回、精神科嘱託医による面接・訪問による相談を実施
- ・精神障害者生活教室：年45回、区役所で社会復帰への適応の促進や再発予防・早期発見を目的とした集団援助活動を実施
- ・精神障害者家族教室：年6回、当事者を支える家族の学習・交流の場を提供

5 快適で衛生的な暮らし支援事業 生活衛生課

予 算	1,006,000円
決 算	905,381円
差 引	100,619円

日常生活で最も身近な食品医薬品、居住環境、ペットなどの問題について、適切な情報提供や啓発に取り組むとともに施設等への監視指導や検査を実施し、区民の快適な生活を支援しました。

(1) 食品衛生普及啓発事業＜拡充＞ **30周年**

飲食店や家庭、地域行事等における食中毒などの食品事故発生防止のため、自主衛生管理を推進しました。

また、社会福祉施設、食事サービス実施団体等に対し、衛生管理支援を行いました。

ア 食品衛生講習会

(ア) 飲食店等の食品衛生責任者向け：6月～11月（5回）、延べ177人

(イ) 食事提供ボランティア向け：2月27日、26人（15団体）

食品衛生パネル展



- イ 営業者、区民の皆様等への食中毒予防啓発、自主衛生管理推進
 - ・広報よこはま青葉区版掲載（6月号）
内容：「30年でどう変わった？～古くて新しい食中毒の話～」
 - ・パネル展
青葉区役所：8月26日～30日、11月25日～29日
山内図書館：7月1日～15日、12月17日～27日
区民まつり（健康フェスタ）：11月3日（区制30周年記念食品衛生パネル展示）
 - ・チラシ配布 随時
 - ・地域行事での食中毒予防啓発：4月22日、内容：ホームページの更新、自治会・町内会向け手続き案内
- ウ 高齢者施設、保育所、高齢者食事サービス実施団体、こども食堂への衛生管理支援
 - ・回数：3回（9月、12月、3月）

(2) 動物の適正飼育推進事業＜拡充＞ **30周年**

犬猫の飼育にかかるトラブルの減少と健康的な終生飼育が行われるよう、適正飼育に関する啓発、相談を実施しました。

ア 犬猫の適正飼育に関する相談対応

- ・相談件数：407件

イ マナー啓発

- (ア) ペットマナーパネル展（区制30周年記念）
 - ・11月、活用方法：パネル展、Webページへの掲載
- (イ) ペットマナー啓発講習会の開催（区制30周年記念講習会）
 - ・11月3日、11月30日、場所：健康フェスティバル会場等
- (ウ) 広報よこはま青葉区版掲載（10月）
- (エ) あおバリューラジオで啓発（9月）
- (オ) 区役所展示スペースでのパネル展
 - ・9月14日（土）～9月20日（金）、
内容：ふん尿の持ち帰り、リードの持ち方などに関する啓発
- (カ) 広報車によるマナー啓発
- (キ) 狂犬病予防集合注射会場での啓発
 - ・回数3回（4月）、チラシ配布部数：496枚
- (ク) 自治会・町内会向け「一歩進んだお散歩マナー」動画案内・ポスター配付（4月22日）



ペットマナーパネル展



11/3 犬のお散歩マナーとしつけミニ講座

6 自治会町内会支援事業 地域振興課	予 算	2,141,000円
	決 算	1,955,554円
	差 引	185,446円
<p>地域の抱える課題を解決していくため、自治会・町内会を中心とする地域団体と行政との連携を推進しました。</p> <p>(1) 青葉区連合自治会長会定例会 自治会・町内会との連携強化のため、8月と12月を除き、毎月情報提供を行いました。</p> <p>(2) 自治会町内会長感謝会 日頃から地域社会の振興に多大な役割を果たし、市政・区政に協力していただいている自治会・町内会長の労をねぎらうため、自治会町内会長感謝会を開催しました。 ・3月6日、参加者：58人、場所：MELONDI Aあざみ野</p> <p>(3) 自治会町内会運営に関するDX講習会等の実施 自治会町内会における情報共有手段や運営手法の多様化を図るため、SNSの活用、ホームページの作成、オンライン会議等のICT利活用に係る講習会を実施しました。また、希望する自治会町内会へ専門家を派遣し、運用開始を支援しました。</p> <p>ア 講習会（ICT活用講座） ・7月15日、参加者：21人（13自治会）</p> <p>イ 派遣等支援 ・件数：2件</p>		
7 あおば地域サポート事業 地域振興課	予 算	2,565,000円
	決 算	1,119,083円
	差 引	1,445,917円
<p>地域に踏み出す「きっかけづくり」と地域の「つながりづくり」に連携して取り組み、地域活動の活性化を図るとともに、区民の皆様が地域活動を始めるとき、主体的・継続的に地域活動に取り組めるように支援しました。</p> <p>(1) 青葉みらいづくり大学校 再配当事業である、地域人材の発掘・育成のための講座の「青葉みらいづくり大学校」を実施するとともに、修了生の伴走支援を行いました。</p>		

- ・講座：5回（うち1回は地域の方を招いた交流会を実施）
対象：区内在住で自治会町内会活動または各種委員として活動している方、受講者：9人、交流会参加者：30人
- ・修了生伴走支援（同窓会）
7月6日、対象：令和4年度及び5年度修了生、参加者：7人

再配当事業 地域づくり大学校事業（市民局）

地域の課題解決や魅力づくりを学ぶ講座の実施により自治会町内会等の担い手を育成しました。

(2) あおばスタート補助金

地域課題の解決や既存の取組の拡大を行う団体を対象に、自治会町内会と連携・協力して実施する地域課題解決の取組を支援するため、補助金を交付しました。

- ・事前相談件数：18件、交付団体数：4団体

(3) 区民利用施設交流会

地域情報や課題の共有を促すために、地区センター、地域ケアプラザ、コミュニティハウスなどの区民利用施設を対象に交流会を開催しました。

- ・9月19日、場所：青葉公会堂会議室、対象：区内の各区民利用施設職員、参加者：28人（27施設）

8 地域スポーツ振興事業 地域振興課

予 算	4,200,000円
決 算	3,892,400円
差 引	307,600円

地域におけるスポーツ振興を担うスポーツ協会の活動を支援しました。また、区民の皆様の協力を得て行う参加型スポーツイベントの実施等、スポーツを通じた地域のつながりの形成・活力ある地域づくりの促進に努めました。

(1) 区スポーツ協会支援事業

区民の皆様が参加できる各種スポーツ大会・講習会の開催や、生涯スポーツの振興に向けた活動に補助金を交付し、支援しました。

- ・青葉区スポーツ協会総会（5月20日）

(2) 区民マラソン大会＜拡充＞ **30周年**

地域住民、各団体との協働により区民マラソン大会の開催を支援しました。

- ・第11回青葉区民マラソン大会

11月24日、出走者：971人（男性787人、女性184人）、

青葉区民マラソン大会運営委員会：4回



第11回大会の様子（令和6年11月）

(3) トップスポーツチーム連携事業＜新規＞ **30周年**

市内トップスポーツチームの試合に区民を招待し、試合前に子どもたちにスポーツのレクチャーなどを行うなどのイベントを開催しました。

- ・横浜DeNAベイスターズの神奈川県下周年関係自治体観戦企画への参加

5月30日、場所：横浜スタジアム、内容：区制30周年PR・モルック体験会・マスコットキャラクター出演、PRブース出展

- ・横浜ビー・コルセアーズ青葉区民デー

12月22日、場所：横浜国際プール、内容：区民観戦招待（150組300名）、青葉区PRブース出展

(4) 30周年記念イベント＜新規＞ **30周年**

青葉区スポーツ推進委員連絡協議会と青葉区さわやかスポーツ普及委員会の連携により、ボッチャ大会を実施しました。

- ・12月1日、参加者：101人、場所：青葉スポーツセンター

9 芸術文化振興事業 地域振興課

予 算	6,543,000円
決 算	5,837,618円
差 引	705,382円

区内で芸術文化活動を行う団体に補助金を交付し、協働して区民が創作・発表・観賞等ができる事業を実施しました。

(1) 青葉区民芸術祭事業 **30周年**

区民が参加や鑑賞する様々な芸術文化の発表の場を作り、身近なものとして関心を高め親しむ機会としました。

ア 青葉コーラスのつどい

- ・7月7日、出演団体数：44団体、来場者：1272人、場所：青葉公会堂

- イ 青葉区民音楽祭
 ・9月8日、11月10日、12月22日、
 出演団体数：延べ8団体、来場者：延べ2,001人、場所：青葉公会堂



青葉区民芸能祭（令和6年12月）

- ウ 青葉区民芸能祭
 ・12月14日・15日、出演団体数：41団体、来場者：1,301人、
 場所：青葉公会堂



作品展（令和6年11月～12月）

- エ 青葉区民芸術祭作品展
 ・11月27日～12月9日（前・後期）、出品数：361点、
 来場者：2,322人、場所：横浜市民ギャラリーあざみ野

(2) 区民ホールコンサート事業 **30周年**

お昼休みのミニコンサート、ジュニアフェスティバルを開催し、音楽に親しむ機会を提供しました。

- ア お昼休みのミニコンサート（プロの音楽家の演奏）
 ・毎月第3水曜日（5月・8月を除く）、回数：10回、観覧者：延べ1,531人

- イ ジュニアフェスティバルオーディション（小中高校生対象）
 ・5月11日、出演：11組18人、場所：青葉区民文化センターフィリアホール

- ウ ジュニアフェスティバル
 ・8月7日、8日、出演：オーディション上位6組6人、来場者：139人（2日間合計）

(3) シニアコンサート事業

「65歳からのアートライフ」演奏会を開催し、高齢者が自らの演奏発表の場を得ること、またその姿を身近で応援することで地域の活性化と区民の健康長寿に寄与しました。

- ・6月23日、11月17日、来場者：延べ390人、場所：青葉区民文化センターフィリアホール

(4) あおば美術公募展事業 **30周年**

区民の美術に親しむ心と創造意欲を育み、交流の機会を提供することで、一層の文化・芸術振興を図りました。

- ・7月6日～14日、来場者：2,240人、出品者：116人（162点）、入選作品数：138点（うち、17点表彰）、場所：横浜市民ギャラリーあざみ野

(5) 郷土の歴史を未来に生かす事業＜拡充＞ **30周年**

区制30周年を記念して、青葉区歴史ガイドブックを発行・販売しました。また、青葉区の歴史の伝承と郷土愛の醸成を目的に歴史に関する講座や講演会などを実施し、地域の歴史文化に触れる機会を提供しました。

- ア 区制30周年記念歴史ガイドブック発行・販売
 青葉区制30周年記念『よこはま青葉の歴史を歩く～7つの探訪コース～』を発行・販売しました。
 ・販売開始：6月3日（完売：12月17日）
 ・発行部数：2,500部（有償2,000部）

- イ 歴史探訪講座
 ・回数：9回、参加者：延べ707人、場所：区内及び市内一円

- ウ 歴史講演会
 ・10月25日、参加者：55人

(6) AOAデジタル・アートミュージアム

- Webサイトの運営を通して、青葉区のアートの魅力を発信しました。
 ・インフォメーション更新回数：12回



ガイドブック表紙イメージ

10 区民活動支援センター事業 地域振興課

予 算	3,629,000円
決 算	3,494,683円
差 引	134,317円

区内の市民活動や生涯学習を総合的に支援するため、相談・コーディネートや情報発信のほか、講座や交流イベント等を通じて、地域のつながりづくりを推進する事業を実施しました。

(1) 区民活動支援センター事業

区民活動支援センターにおける相談・コーディネートや情報提供及び講座や交流会・イベント等の開催を通じて地域のつながりづくりを推進し、区民の自主的な市民活動と生涯学習の総合的支援を行いました。

ア 相談・コーディネート・情報提供

(ア) 相談対応・コーディネート

市民活動・生涯学習に関する相談を受け付け、区内で活動する団体や生涯学習に関する講師等について、情報発信及びコーディネートを行いました。

- ・延べ488件

(イ) 情報発信

活動に役立つ情報や地域の活動団体情報をまとめた情報紙「Info まち活」の発行及びメールマガジンの配信をしました。

- ・実施：毎月1回、情報誌発行部数：1,500部／月、メルマガ登録者数：413人、青葉区公式X配信回数：29回／年

イ “まち活” de つながり事業

(ア) まち活カフェ+

テーマに応じてゲストスピーカーを招き、区民の学びや、出会い、交流の場を提供しました。

・回数：9回、参加者：延べ149人、場所：区民活動支援センター

(イ) まち活フォーラム（活動団体の交流会）

市民活動に携わる様々な分野の人や団体が集い、学びや情報交換を通じてつながり、活動の輪を広げる場を創出しました。

・2月27日、参加者：13人

(ウ) まち活パートナーズトライアルWeek

区民活動支援センターに登録している「活動団体」や「まち活パートナーズ」の活動発表の場を創出するとともに、区民の皆様の市民活動への関心を高め、活動をはじめるきっかけづくり及び交流の場として開催しました。

・7月9日～7月13日、参加者：182人、場所：区民活動支援センター及び区民ホール（区役所1階）

(エ) まち活ギャラリー

地域で活動する登録団体及び講師によるパネルや作品展示等により、情報発信及びつながりづくりの場を提供しました。

・参加団体：21団体、場所：区民活動支援センター

(オ) 区民活動支援センターde 区民まつり事業

区民活動支援センターに登録している「活動団体」や「まち活パートナーズ」の活動発表の場として、区民活動支援センターde 区民まつりを開催しました。

・11月3日、参加者：延べ400人、場所：区民活動支援センター及び区民ホール（区役所1階）

ウ 区民交流センターまつり事業

区民交流センター内で活動する団体及び地域と協働して、区民交流センターまつりを開催しました。

・11月23日、参加者：延べ2,200人、場所：青葉区区民交流センター及び田奈駅前広場

エ 市民活動支援講座

市民活動を支援するため、SNSを利用した情報発信手段について学ぶ講座等を開催しました。

・5月16日、23日、参加者：それぞれ38人、28人

・1月30日、参加者：18人

オ スマホ相談会

令和5年度市民活動支援講座で発足したボランティアグループ「青葉・スマホサポーター」と協働し、区内の地域活動におけるICTの利活用の推進を目的に開催しました。

・回数：7回、参加者：延べ47人

カ 地域デビュー応援講座

地域活動の担い手育成を目的に講座を開催するとともに、受講生が地域課題解決に向けて活動ができるように支援しました。

・回数：6回、参加者：延べ89人

キ 青葉区区民企画運営講座

地域デビュー応援講座の受講生が団体を結成し、地域課題の解決及び地域活性化に向けた講座を企画・運営する事業に補助金を交付しました。

・交付団体数：4団体

3 便利で魅力的な選ばれるまち

1 商店街活性化・中小企業振興事業 地域振興課

予 算	2,045,000円
決 算	1,718,210円
差 引	326,790円

各商店会への情報提供や、商店街イベントの支援、広報、PRを行い、商店街活性化を図りました。また、地域や企業と連携した起業支援イベント等を行い中小企業の振興を図りました。

(1) 商店街活性化事業

区全体の商店街活性化につながるよう、商店街連合会が実施する事業を支援しました。

ア 商店街連合会が実施するイベント等への補助金の交付

・交付団体数：9団体

イ 商店街主催イベント等の広報

・広報よこはま区版7月号：夏のイベントを掲載

・広報よこはま区版12月号：商店街年末年始イベントを掲載

ウ 青葉区商店街お散歩まっふの増刷

・配布数：5,000部、配架先：区所管施設、無印良品店舗及び横浜銀行青葉台支店

(2) 中小企業振興事業

ア 起業支援セミナーの開催

青葉区内の地域団体や企業と連携しながら、区内企業を育成するための起業支援イベントを開催しました。

・1月11日・2月15日・3月8日、参加者：延べ97人

イ 青葉ブランドのPR

区内の美味しいレストランなどの店舗を認定した青葉ブランドのPRを区民まつりなどで行いました。

2 まちづくり・データ活用推進事業 区政推進課、税務課、総務課	予 算	2,529,000円
	決 算	2,225,090円
	差 引	303,910円

時代とともに変化する区民ニーズを捉えた地域課題の解決を推進するため、地域や関連機関との情報共有及び統計データの分析・活用を行いました。

(1) あおば街づくり連絡協議会

区内事業者・団体がより良い街づくりに向けた情報共有・意見交換を行うため、あおば街づくり連絡協議会を開催しました。

- ・2月26日、参加者：23団体、内容：日本体育大学教授による特別招待講座（パラスポーツを通じた共生社会の実現に向けた取組について）

(2) 青葉区まちのルールづくり連絡会

青葉区まちのルールづくり連絡会を開催しました。

- ・2月21日、参加者：10人（5団体）、内容：「横浜市再エネ・省エネ説明制度」について意見交換

(3) データ活用の推進

職員によるデータ活用の推進区民ニーズに対応した新たな施策検討や業務の効率化につなげるためのスキルを習得するため、データ活用・デジタル化関連の研修を3回実施しました。

- ・データ研修ーデータ紹介編ー 参加者：36人 内容：各課で作成しているデータを紹介
- ・職員向けデジタルツールの研修会 参加者：34人 内容：PRA・キントーン・M365の活用方法
- ・データ研修ーデータ利活用の基礎を学ぼう編ー 参加者：32人 内容：データ分析・利活用方法の基礎

(4) データで見る青葉区の発信

青葉区の人口や産業、福祉関係などの各種統計データを『なるほどあおば2024』としてホームページに掲載しました。併せて区民の皆様が利活用しやすい形式（Excel等）で公開し、オープンデータとして提供しました。



『なるほどあおば（HP掲載）』

(5) 税務に関する電子申請推進

e-Taxによる確定申告や、税証明のオンライン申請等の利用促進を図るPRを行いました。

- ・ホームページ、SNSでの周知（1月）、啓発物品（ポケットティッシュ、クリアファイル）によるPR（1月～2月）

(6) 横浜市都市計画マスタープラン青葉区プランの改定に向けた準備＜新規＞

横浜市都市計画マスタープラン青葉区プランの改定に向けて、事前に区の特性を踏まえた調査を行いました。

- ・都市計画マスタープラン青葉区プラン改定のための基礎調査業務委託
基礎調査の内容：青葉区と社会的な条件の近い隣接都市の人口や経済状況等の調査

3 青葉 6 大学連携事業 区政推進課	予 算	905,000円
	決 算	760,225円
	差 引	144,775円
<p>区内にキャンパスを有する 6 つの大学(國學院大學、星槎大学、玉川大学、桐蔭横浜大学、日本体育大学、横浜美術大学)と締結した連携・協力に関する基本協定に基づき、区・大学双方の魅力発信や地域課題の解決に向けた取組を連携して行いました。また、区制 30 周年を記念して、青葉 6 大学によるステージ発表等のイベントを行いました。</p> <p>(1) 代表者会議 ・ 6 月 28 日、内容：青葉 6 大学連携会議要綱の制定について、大学と行政の連携について意見交換、各大学・区の間組の共有</p> <p>(2) 区制 30 周年イベント＜新規＞ 30 周年 ・ 12 月 7 日、各大学からの参加者：75 人、場所：たまプラーザテラス、 内容：各大学の特徴を生かしたステージ発表（チアダンス、和太鼓、ダブルダッチ、ストレッチ）、ワークショップ（彫刻作品づくり）</p>		
4 地域での読書活動推進事業 こども家庭支援課	予 算	1,399,000円
	決 算	1,098,280円
	差 引	300,720円
<p>横浜市民の読書活動の推進に関する条例に基づき策定した青葉区民読書活動推進目標の実現に向け、山内図書館、区民利用施設等と連携しながら、本に親しむ環境作りに加え、区内の施設や読書活動ボランティア同士の連携を図りました。</p> <p>(1) 読書活動推進事業</p> <p>ア 区内 14 施設の蔵書と山内図書館の CD ブックの充実を図りました。 ・ 蔵書購入：94 冊、CD ブック購入：25 冊</p> <p>イ 読書講演会及び施設や読書活動を行う団体等の交流会等を開催しました。＜拡充＞ 30 周年 ・ 11 月 7 日、参加者：468 人、テーマ：「作家の父と私」、場所：青葉公会堂 ・ 交流会：3 月 28 日、参加者：21 人</p>		

5 広報・広聴事業 区政推進課、戸籍課

予 算	2,768,000円
決 算	2,771,180円
差 引	▲3,180円

区政情報や区の魅力について、迅速・正確に「伝わる」情報発信を行いました。区民の皆様に向けた最前線の広報拠点として、市の重要施策についても、積極的に発信していきました。

(1) ガイドマップ作成事業

青葉区の行政情報、地域情報及び施設情報を分かりやすく掲載したガイドマップを作成し、印刷した配布物及びデジタル（よこはまっぷ）で提供しました。

・時期：3月、部数：8,000部

(2) 転入者向け情報提供事業

青葉区ガイドマップや防災マップ等、市政・区政情報をまとめて提供することで、地域の活動やイベント等への参加を通じ、新たに青葉区に住む方の郷土意識の醸成を目指しました。マップ等の封入作業は障害者就労施設に委託しました。また、市政・区政情報のホームページを案内するチラシも配布しました。

・配布部数（紙のチラシセット）：2,800部

(3) マスコットキャラクター活用事業

青葉区マスコットキャラクター「なしちゃん」の着ぐるみの貸出しやグッズの活用等を通じて、区民の皆様が青葉区に親しみを抱く機会の創出につなげました。

・着ぐるみ貸出し：19件、イラスト申請：18件、着ぐるみ更新：3月

(4) その他広報・広聴

区民の皆様のご意見等を区政に反映し、必要な情報を発信するとともに、区民の皆様に向けた最前線の広報拠点として、市の重要施策についても発信しました。また、区役所内のシティプロモーション・広報力の向上につなげるため、広報研修を実施しました。

・8月29日、参加者：19人、内容：広報デザイン研修（区職員向け）

(5) デジタル広報事業

「横浜DX戦略」に基づき、デジタルの恩恵を広く区民の皆様の実感していただくための広報を実施しました。

ア オンラインでできる行政手続等の一覧の配布
紙媒体から青葉区WEBページでの周知に切替

イ スマートフォンアプリによる子育て情報発信（再掲）



青葉区 ガイドマップ

6 区民サービス向上事業 総務課、戸籍課、保険年金課	予 算	2,214,000円
	決 算	2,333,619円
	差 引	▲119,619円

区民、来庁者に対する接遇及びおもてなしの向上に向けて、改善を図りました。具体的には職員向けの研修、戸籍課窓口の混雑対策等を実施しました。

(1) CS・ES向上研修等 ※※CS：顧客満足度、ES：職員満足度

ア 研修

窓口対応のレベルの維持・向上のため、外部講師による研修を実施しました。

- ・窓口・電話・クレーム対応研修：5月1日・7日、延べ参加者：35人

イ おくやみハンドブック

身近な方が亡くなった際に必要な各種手続きを「おくやみハンドブック」（冊子・ホームページ）としてまとめました。ホームページの案内チラシや冊子をお渡ししました。

- ・配布場所：青葉区役所（戸籍課窓口、区民ホール）、あざみ野駅行政サービスコーナー
- ・配布数：案内チラシ約1,600部、冊子約1,400部



(2) 人権啓発研修、人権啓発講演会 **30周年**

職員一人ひとりが人権問題に対する正しい理解と認識を深めることができるよう、職員向け研修を実施しました。また、市民の皆様や職員を対象とした人権啓発講演会等を実施しました。

- ・職員向け人権啓発研修：7月～3月
- ・人権啓発講演会：9月25日、参加者人数：217人、内容：映画「ぼけますから、よろしくお願いします。～おかえりお母さん～」上映

(3) 戸籍課窓口の混雑対策

来庁者及び入電数が増加する繁忙期に電話対応の一部を委託することで、窓口対応の体制を確保するとともに、電話がつながりにくい状況の軽減につなげ、区民サービス向上を図りました。

- ・実施時期：4～5月、3月
- ・窓口繁忙時の転出入窓口増設（2窓口→3窓口）20日間
- ・電話対応延べ3,145件（42日間、平均75件／日 職員対応含む）

※WEB 予約件数、効果

予約112件（3件／日）、平均待ち時間3分、最大待ち時間20分（予約なし平均待ち時間6分 最大待ち時間1時間10分）

(4) 保険年金課受電の混雑対策

入電数が増加する時期に、電話回線を増設するとともに電話対応の一部を委託することで、電話がつながりにくい状況の改善につなげ、区民サービス向上を図りました。

・実施時期：6月～8月

・回線増設日の受電数：延べ2,413件（うち増設回線の受電数：910件）

回線増設日：28日（うち研修3日含む）

（6月：国保介護応約89件／日、7～8月：後期・各医療証等対応 約84件／日）

（増設日：6/7・10・11、6/14～28、7/8・9・16・23、7/25～30、8/1～8のうち土日を除く日、8/21）

7 利用しやすい区役所づくり事業 総務課

予 算	8,952,000円
-----	------------

決 算	16,068,360円
-----	-------------

差 引	▲7,116,360円
-----	-------------

区庁舎が安全で快適であるための整備や改善を実施し、区民や利用者の皆様が利用しやすい環境を整えました。

・1階設備時計交換、2階窓口受付システム設置、4階壁紙張替（2月）、2階・3階PHS設置 等

4 いつまでも愛着を持って過ごせるまち

1 区制30周年記念事業 総務課、区政推進課、地域振興課、戸籍課

予 算	3,003,000円
-----	------------

決 算	3,011,190円
-----	------------

差 引	▲8,190円
-----	---------

令和6年の区制30周年を機に、区民とともに祝う事業を実施することで、区民一人ひとりの地域への愛着を育み、地域の絆の深化を図りました。

(1) 青葉区制30周年記念事業実行委員会 30周年

区制30周年記念事業を行う団体の活動を支援しました。

ア 青葉区制30周年記念事業実行委員会の開催（4回）

イ 実行委員会事業

・記念式典（11月4日）

・ウォーキングイベント：4回実施 参加者：延べ230人

・魅力体験イベント（区内企業等による施設見学や業務体験）12企業・団体が実施

・特別講演会（1回）

(2) 夢の「なしかちゃん」便 **30周年**

青葉区制15周年事業（平成21年度）において、『夢の「なしかちゃん」便』を実施し、保護者から15年後の児童にあてたお手紙をお預かりしていました。

青葉区制30周年事業として、ご記入いただいた住所宛てにお預かりしたお手紙を発送しました。

・11月、460通

2 青葉区民まつり事業 地域振興課

予 算	5,803,000円
決 算	6,034,600円
差 引	▲231,600円

ふるさと意識の醸成と地域活動の促進を目的に、地域間での連携と情報共有が図られる区民参加型のまつりを支援しました。また、当該イベントを通じて、地域団体の企画力・実行力を向上させるとともに、地域のさらなる活性化を図るための支援を行いました。

(1) 区民まつりの実施＜拡充＞ **30周年**

- ・開催日：11月3日
- ・参加団体：区内小中高等学校、自治会・町内会、商店会、ボランティア団体、民間企業等
- ・来場者：約40,000人
- ・実施内容：テーマに沿った展示や地元団体等による模擬店、スポーツ体験コーナー、小中学生による演奏・演技



第2駐車場特設ステージ



模擬店出店の様子

- ・青葉区30周年特別事業：30周年用バックボード、横断幕、フォトスポットによるPR、スタンプラリーの実施

(2) 区民まつり運営委員会の開催

- ・5回

3 花と緑があふれる街事業 地域振興課

予 算	1,224,000円
決 算	1,064,031円
差 引	159,969円

花と緑があふれ潤いのある街づくりを進めるため、緑化ボランティア「あおば花と緑のサポーター」の活動を支援するとともに、花壇づくりの技術向上やボランティアへの参加を促すことを目的とした研修会を開催しました。GREEN×EXPO 2027を契機とし、「あおば花と緑のサポーター」の活動の広がりを目指しました。

(1) ボランティア支援事業＜拡充＞

地域の緑化ボランティア活動を支援し、花と緑があふれる住みやすい街づくりを目指しました。

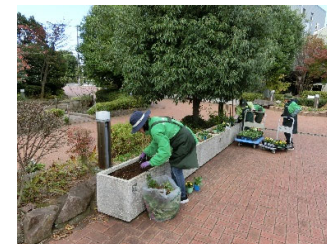
花苗・肥料等配付

- ・配付：22 団体（6 月）、21 団体（11 月）

(2) ボランティア育成事業

研修会を開催し、ボランティアのスキルアップやボランティアへの参加促進を図りました。

- ・3 月 20 日、参加者：10 名



花植えの様子

4 青葉区における都市農業の展開 区政推進課

予 算	2,650,000円
決 算	2,546,803円
差 引	103,197円

青葉区の特色である農業を生かして将来にわたり魅力あるまちを目指すため、区制 30 周年や GREEN×EXPO 2027 開催を契機に、青葉区における都市農業への理解促進や情報発信、地産地消の推進に取り組みました。

(1) 農あるまちづくり推進事業＜拡充＞ **30周年**

- ・農業者等との意見交換会 3 回
- ・広報よこはま青葉区版での都市農業連載（コラム 6 回掲載）
- ・はま菜ちゃん料理コンクール（青葉区長等新設）
- ・小学生向け学習コンテンツの作成

(2) あおば地産地消推進事業 **30周年**

区役所でのあおばマルシェの開催等により、区民の皆様は青葉区の農を身近に感じていただき、地産地消への関心を高め、理解を深めることで、地域の活性化や愛着につながりました。また、みどり環境局とも連携し、地産地消の推進につながる情報発信・PRを行いました。

- ・回数：12 回（毎月第 3 木曜日）、延べ出店者数：69 店舗

再配当事業 身近に農を感じる地産地消の推進事業（みどり環境局）

区制 30 周年を記念し、規模を拡大したあおばマルシェを、11 月の地産地消月間に合わせて実施しました。

- ・区役所 1 階で実施している「あおばマルシェ」の会場を、区役所 1 階から区民広場（区役所と公会堂の間）まで拡大して実施（出店者：11 店舗）

(3) 農を身近に感じる事業

青葉区の魅力のひとつである寺家ふるさと村等で、寺家ふるさと村の活性化に取り組むみどり環境局と連携し、ガイドウォーキングを開催し、区民の皆様に横浜の都市農業やふるさと村構想、地産地消など農業に関する情報を知り、考える機会を提供しました。

・第1回：12月4日、参加者20人 ・第2回：3月27日、参加者24人

コラム GREEN×EXPO 2027 の機運醸成

令和6年度は、開催1,000日前などの節目のイベントや機運醸成の取組を積極的に進めました。

青葉区では、あおばマルシェやガイドウォーキングの開催等、農や地産地消に関するPRを行うとともに、脱炭素・GREEN×EXPO推進局や区内企業等と連携したイベントの開催や、花と緑の活動等を通じて、区内の機運醸成につなげました。

・GREEN×EXPO 2027 開催1000日前イベント

商業施設で特設フォトスポット設置、苗の配布等

・2年前イベント

商業施設で親子向けワークショップ等

・地域説明会

公会堂で自治会町内会や愛護会等市民団体に向けた説明

・その他の取組

駅や駐輪場でのポスター掲示、商業施設や商店街でのポスター掲示・チラシ配架、公園や保育園での横断幕設置

5 メディアによる広報事業 区政推進課

予 算	5,261,000円
決 算	5,217,128円
差 引	43,872円

区民の皆様に向けた最前線の広報拠点として、区政情報や市の重要施策等を分かりやすく発信するため、動画作成を行いました。

また、青葉区を放送エリアとするコミュニティFMラジオ及びケーブルテレビ等を活用した情報提供を行いました。

各種広報媒体の特性を生かし、区民の皆様のニーズに合わせた多様な情報収集手段を提供することで、必要な情報を迅速・正確に伝えるとともに、青葉区の魅力を広く発信しました。

(1) コミュニティFMラジオ（FMサルース84.1MHz）30周年

- ・広報番組「あおバリューRadio」
生放送 月～金曜日 11：00～11：20、再放送 月～金曜日 18：30～18：50、ダイジェスト土・日曜日 9：00～9：30
- ・多言語放送「あおバリューRadio(多言語版)」月～金曜日18：50～18：55
- ・防災番組「防災人物館」（令和6年は30周年企画としてタイトルを変更）
月～金曜日11：20～11：25

(2) ケーブルテレビ（iTSCOM）30周年

- ・「あおバリューTV from 丘の横浜」毎週月～金曜日 18時45分～18時55分、毎週土曜日 12時40分～12時50分
- ・放送テーマ：「青葉区制30周年記念番組 ～未来へつなぐ『青葉物語』～」（4月～6月）
「青葉区制30周年記念番組 ～歴史ガイドブックで青葉を巡ろう～」（7月～9月）
「青葉区制30周年記念番組 ～シェアサイクルで巡ろう！未来に残したい美しい青葉の風景～」（10月～12月）
「青葉区制30周年記念番組 ～総集編～」（2月）
「GREEN×EXPO 2027」に向けて！子どもたちと考える「環共」（1月～3月）

(3) スマートフォンアプリを活用した情報発信

FMサルーススマートフォンアプリ「FM++（プラプラ）」を活用し、防災情報をタイムリーに発信するとともに、区のイベント等に関する情報を広く区民の皆様へ届けました。
発信件数：540件（災害・気象情報等）

5 将来の世代にわたり安全・安心に暮らせるまち

1 郊外部における脱炭素化の促進 区政推進課	予 算	1,800,000円
	決 算	1,557,770円
	差 引	242,230円

シェアサイクルステーションの設置の調整等を青葉区が積極的に支援するとともに、脱炭素化の視点を踏まえ幅広い世代に向けて広報しました。これらを通じ、多くの区民の方が地域内の身近な移動における脱炭素化に取り組みやすい環境を整えました。

また、区民に対し、脱炭素の取組を知る機会を提供し、脱炭素化社会の実現に向けた行動変容を促しました。

(1) 移動における脱炭素化促進キャンペーン＜拡充＞

日常で取り組める脱炭素化の取組としてシェアサイクルステーションや脱炭素化に資するデマンド交通など郊外部の移動における脱炭素化に向けた取組のPRを行いました。

- ・東急バス株式会社等による自動運転の実証実験に併せ実施されたイベントでのシェアサイクルの利用啓発（6月）
- ・デジタルスタンプラリーの実施、期間：9月14日～11月24日、参加人数：197名

(2) 脱炭素化促進イベント

11月23日、場所：藤が丘駅前公園、内容：地産地消マルシェ「あおばを食べる収穫祭」にブース出展しペロブスカイト太陽電池や脱炭素化について啓発

局事業 次世代型太陽電池活用推進事業（脱炭素・GREEN×EXPO 推進局）

大学、企業、関係団体等と連携し、ペロブスカイト太陽電池の特性を生かした新たな用途開発の支援や、建材一体型も含め、開発の状況に応じた市域での実証・実装事業や機運醸成での活用など、GREEN×EXPO 2027での発信や活用も見据え、取組を強化しました。

2 青葉まちの美化推進事業 地域振興課

予 算	2,994,000円
決 算	2,810,880円
差 引	183,120円

脱炭素社会の実現とSDGsの達成に資するプラスチック対策や食品ロス削減等を進めるとともに、地域の自主的な美化活動への支援等により、清潔できれいなまちづくりを推進しました。

(1) 3R推進事業

7年度に開始するプラスチックごみの分別拡大を見据えたプラスチック対策をはじめ、食品ロスの削減や3R推進の啓発等を行いました。

ア 自治会・町内会での説明会、小学校等での出前教室、商業施設や駅頭での啓発・キャンペーンの実施

- ・出前講座・説明会：自治会町内会等、65回
- ・出前教室：小学校4校、中学校3校、幼稚園・保育園7園
- ・啓発・キャンペーン：20回（通年、駅頭・商業施設・地域まつり等）

イ プラスチック対策や食品ロス削減についての啓発を目的とした講座や講演会等の実施

- ・親子向け講座（3R理科実験教室）
開催日：8月10日、参加者：58人（子どもと保護者29組）、場所：青葉区役所
- ・食品ロス削減イベント
開催日：10月6日、参加者：265人、場所：たまプラーザ テラス
- ・あおばフードドライブ大作戦
開催期間：10月18日～31日、集まった食品の点数：305点、場所：区内6地区センター



3R理科実験教室

フードドライブ大作戦で
集まった305点の食品

ウ フードドライブの受付

- ・受入数：1,011 点

エ 「あおば区民文庫ボックス」を活用した資源の有効活用及び読書推進

- ・受入数：23,921 冊

(2) 街の美化推進事業

清潔できれいな街づくりを推進するため、地域の自主的な美化活動の支援と不法投棄防止に向けた取組を行いました。また、補助金交付により、各連合自治会の美化推進活動を支援しました。

ア 清掃活動用バイオマス素材のごみ袋支援

- ・配付数：6,820 枚
- ・配付団体数：24 団体

イ 区民参加型クリーンアップイベント「クリーンウォーク」の実施

- ・実施回数：2 回
- 第1回（青葉台駅周辺）：10月27日 210人
- 第2回（あざみ野駅周辺）：2月16日 220人



あざみ野クリーンウォーク

ウ 「青葉まちの美化推進事業補助金」交付

- ・交付団体数：15 団体

エ 青葉まちの美化推進功労者表彰

- ・11月20日、被表彰者・団体：3名、2団体

オ 集積場所のプラスチック流出防止対策の実施

- ・7か所、6月～11月、青葉台地区、奈良町地区、すすき野地区（2か所）、中里地区（3か所）

カ 放置自動車及び不法投棄防止対策会議

- ・6回（奇数月開催）

3 地域防犯支援事業 地域振興課	予 算	1,516,000円
	決 算	1,244,690円
	差 引	271,310円

地域での自主的な防犯活動を支援し、また、特殊詐欺等の犯罪発生状況に応じた啓発により防犯対策を強化し、地域、警察等と一体となり、安全で安心なまちづくりを進めました。

(1) 自主的防犯活動支援事業

地域等が自主的に行う防犯活動を支援し、地域の自主防犯組織の拡大や防犯活動の活性化を図りました。

ア 自主的防犯活動団体への防犯グッズ支援

- ・のぼり旗・防犯ベスト等の配付：67団体

イ 地域の防犯パトロールへの参加

- ・参加回数：10回

(2) 区民の防犯意識向上のための啓発事業＜拡充＞

警察と連携した特殊詐欺対策やキャンペーンの展開、広報等を活用した区民への啓発を行いました。

ア 警察と連携した特殊詐欺対策機器の貸与事業

- ・貸与台数：延べ30台 累積台数：延べ206台

イ 警察と連携した啓発

- ・広報よこはま青葉区版掲載、あおバリューRadio：10月、12月

ウ 安全・安心まちづくり旬間出陣式

- ・10月11日、場所：青葉台フォーラム

エ 「青葉区犯罪発生情報メール」の配信

- ・登録者数：2,893人、配信件数：368件



防犯パトロールの様子
(美しが丘地区)

4 交通安全対策事業 地域振興課	予 算	5,860,000円
	決 算	5,129,266円
	差 引	730,734円

区内の交通事故減少、交通マナーの向上を目指し、広報活動や交通安全ポスターコンクール等を通じて、交通安全・マナーの啓発を行いました。また、地域と連携し、スクールゾーン路面標示の設置・補修を行いました。

(1) 青少年交通安全教育推進事業

児童・生徒が交通事故に遭わないような気付き、きっかけ作りにつながるチラシ等を作成し、区内小学校・中学校へ配布することで、広く交通安全の啓発を行いました。

- ・配布日：7月、配布対象：小学2・4・6年生及び中学2年生、配布部数：約10,000部
- ・ランドセルカバー制作費一部補助

(2) スクールゾーン対策協議会

児童の登下校時の安全を守るため、通学路の危険箇所の調査点検等を行う小学校スクールゾーン対策協議会への活動助成及び路面表示等の設置、補修等を行いました。

ア 助成金の交付

- ・交付団体数：29団体

イ スクールゾーン対策協議会を通じた路面表示等の設置、補修等

- ・申請校数：20校、実施箇所：40箇所

(3) 青葉区交通安全対策協議会

区内小学生交通安全ポスターコンクールや交通安全キャンペーンを行い、交通安全意識の啓発を図りました。また、区内交通安全関係団体で構成される協議会の総会を開催するとともに、区交通安全功労者の表彰を行いました。

ア ポスターコンクール

- ・作品募集期間：7月8日～9月13日、応募総数：233点、
受賞作品の展示：区民ホール12月23日～12月26日、たまプラーザ テラス12月27日～1月31日、表彰式：12月

イ 総会・交通安全功労者表彰式の開催

- ・表彰式：2月20日、表彰対象：個人9人、団体4団体

ウ 夏の交通安全キャンペーンの実施

- ・7月12日、来場者：300人

5 青葉区防災の街づくり事業 総務課、福祉保健課、生活衛生課

予 算	8,282,000円
決 算	7,370,510円
差 引	911,490円

区防災計画に基づき、「災害に強い人づくり」、「避難者対策」、「医療救護等の対策」、「災害時ペット対策」に取り組み、地域防災力の向上を図りました。また、若年層向けの啓発の充実及び避難所運営機能を強化しました。

(1) マイ・タイムライン作成講座＜拡充＞

風水害時、より多くの方が災害発生前に避難行動を開始できるよう、小学校で避難行動計画となるマイ・タイムラインの作成講座を行いました。6 年度は対象を中学校にも拡大し、中学校向けには地震編も選択できる形で実施しました。

・実施校数：16 校（小学校 13 校、中学校 3 校）

(2) 「青葉区民防災必携」の増刷

4 年度に区内の全世帯・全事業所へ配布した「青葉区民防災必携（横浜市浸水ハザードマップ）」について、転入者等に配布するため、増刷しました。

・増刷部数：12,000 部、発行：11 月

(3) 避難所運営機能強化

・非常用バッテリー整備（12 月）、地域防災拠点に避難者用エアマットを整備（10 月）

(4) 危機管理対策＜拡充＞

区災害対策本部運営用のスマートフォンを更新するとともに、本部運営訓練等を実施し、災害時の危機管理対応能力の向上に取り組みました。また、区の緊急時情報伝達システムを活用した情報伝達訓練を実施しました。

ア 新採用職員、青葉区転入職員等に対する研修：4 月 11 日、8 月 26 日・27 日

イ 緊急時情報伝達訓練（自治会・町内会等対象）：7 月 9 日、9 月 3 日、1 月 17 日、3 月 11 日

ウ 震災時初動対応訓練（区職員対象）：9 月 3 日

エ 防災協定機関（日本体育大学）合同訓練：10 月、内容：大学内の防災備蓄品の点検を実施

オ 区災害対策本部運営訓練（区職員対象）：1 月 21 日

(5) 災害時医療体制整備事業

区内で震度 6 弱以上の地震が観測された場合、12 か所の「定点診療拠点」を開設し、身近な場所で軽症者の応急医療を受けられるよう物品を整備しました。また、青葉区の災害医療体制を充実するため、医師会等との連絡会や各種訓練会等を開催するほか、関係者間で開設・運営について検討するなど、定点診療拠点の体制の整備・充実を進めました。

ア 防災物品整備

・整備物品：発電機用ガスボンベ、ハンズフリー拡声器スピーカー、保健活動グループ携帯医療用品、時期：3 月

イ 災害医療連絡会議

・3 月 24 日、参加人数：22 人、構成メンバー：医師会、歯科医師会、薬剤師会、災害拠点病院 昭和大学藤が丘病院、災害時協力病院（7 病院）、

横浜市アマチュア無線非常通信協力会青葉区支部、イツコム・FMサルス、青葉警察署、青葉消防署、青葉区災害医療アドバイザー

(6) 災害時のペット対策

災害時のペット対策を推進するため、飼い主への周知啓発を実施しました。また、地域防災拠点でペット受入れのルール化に向けた働きかけや支援を実施しました。

ア 飼い主向け啓発

災害時に向けて日頃の備えに関する啓発を窓口、ホームページや広報紙を活用して実施しました。

【再掲】狂犬病予防集合注射会場での啓発

- (ア) 窓口展示コーナーへの防災物品等展示
- (イ) 展示スペースでのパネル展（9月17日～20日）
- (ウ) 広報よこはま青葉区版掲載（9月号）

イ 地域防災拠点等への取組支援・啓発

ペット同行避難を推進するため、地域防災拠点運営委員会等でペット受入れのルール化支援や説明等を行いました。また防災訓練等において、支援キットを用いた拠点訓練参加者への啓発を行いました。

- (ア) 地域防災拠点運営委員会での説明
 - ・時期：6月～3月
- (イ) 地域防災拠点訓練の支援
 - ・時期：8月～3月、支援拠点数：18（支援キットの貸与）

ウ 拠点参与等向けの防災研修

- ・回数：3回、出席者：延べ39人
- ・地域防災拠点運営委員会総会での説明（5月）、支援キットアンケート実施（6月）
- ・災害時ペット対策講習会（7月6日、7月7日、出席者：28人（15拠点））

物品及び委託契約における市内中小企業者への発注状況について（青葉区契約分）

1 令和6年度の市内中小企業への発注状況

(1) 物品

市内中小企業への発注率は、**件数で 94.7%**（昨年度比 5.3 ポイント減）、**金額で 98.8%**（昨年度比 1.2 ポイント減）となりました。

(2) 委託

市内中小企業への発注率は、**件数で 89.0%**（昨年度比 9.7 ポイント減）、**金額で 91.0%**（昨年度比 7.2 ポイント減）となりました。

2 令和6年度の受注機会増大に向けた取組

契約の相手方を選定する際に、やむを得ない場合を除き、原則市内中小企業を選ぶことを徹底しました。

市内中小企業者への発注状況（青葉区契約分）

	区分	契約実績（※単独随意契約及び大規模契約を除く）						
		市内中小企業契約実績						
		件数	割合	前年度からの増減	金 額	割合	前年度からの増減	
令和6年度	物品	709	94.7	▲5.3	122,716	98.8	▲1.2	749
	委託	121	89.0	▲9.7	166,872	91.0	▲7.2	136
令和5年度	物品	815	100.0	+0.1	96,192	100.0	+6.8	815
	委託	148	98.7	+0.5	132,673	98.2	▲0.4	150

- ※ 財政局契約部による全区局調査と同じ基準で集計しています。
- ※ 「割合」とはそれぞれの数値（件数又は金額）が契約実績に占める割合です。
- ※ 各項目で四捨五入をしているため、合計値と一致しない場合があります。
- ※ 「契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）」は、中小企業庁が行っている「官公需契約実績額等の調査」と同様に、中小企業者の参入の余地がない単独随意契約及び大規模契約（政府調達協定（WTO）対象契約）を除いたものです。

令和7年度 個性ある区づくり推進費 青葉区編成予算 総括説明書

資料2

1 青葉区編成予算 区分別総括表

区 分	予算額 (単位：千円)		増減	令和7年度財源 (単位：千円)	
	令和7年度	令和6年度		一般財源	特定財源
(1) 自主企画事業費	105,340	106,713	▲ 1,373	105,060	280
(2) 統合事務事業費	52,850	49,227	3,623	48,611	4,239
統合事務費	28,056	25,969	2,087	27,816	240
統合事業費	24,794	23,258	1,536	20,795	3,999
(3) 施設管理費	882,639	852,551	30,088	856,683	25,956
合 計	1,040,829	1,008,491	32,338	1,010,354	30,475

※ 一般財源は市民局から配分された財源

※ 特定財源は、広告料収入、公会堂・スポーツセンターの光熱水費振替分、自動販売機手数料等

2 青葉区編成予算 内訳

(1) 自主企画事業費

区 分	予算額	説 明 (単位：千円)
1 安心して出産や育児ができ、子どもたちの未来を創るまち	18,449	出張子育て相談ひろばを新たに実施するなど、誰もが安心して出産や子育てができ、未来を担う子どもたちが社会との関わりの中で健やかに成長できる環境づくりを推進します。
2 健やかに暮らし、いきいきと活躍できるまち	28,424	eスポーツを活用した社会参加を促進するとともに、誰もが自分らしく健やかに暮らすことができるよう、地域での支え合いを支援します。
3 便利で魅力的な選ばれるまち	21,395	区民意識調査により区民ニーズを把握し、大学や区内事業者などと連携して、地域課題の解決や魅力の創造に取り組み、暮らしやすく便利で魅力的なまちを実現します。
4 いつまでも愛着を持って暮らせるまち	16,289	花・緑・農等、青葉区が誇る特色を生かした取組や区民まつりなどの区民参加型イベントの実施により、いつまでも愛着を持って暮らせるまちを目指します。
5 将来の世代にわたり安全・安心に暮らせる持続可能なまち	20,783	災害等のさまざまなリスクに備え、将来の世代にわたって安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。また、GREEN×EXPO 2027の開催及びその後を見据え、小学生向けの環境出前授業など、脱炭素社会の実現に向けた取組を行うことで、持続可能なまちを目指します。
合 計	105,340	

(2) 統合事務事業費

区 分	令和7年度	令和6年度	増減	説 明 (単位：千円)
統合事務費	28,056	25,969	2,087	区役所等運営経費、児童手当事務経費、生活保護事務経費ほか
統合事業費	24,794	23,258	1,536	広報よこはま青葉区版発行事業 市民相談事業 スポーツ推進委員支援費 青少年指導員事業 クリーンタウン横浜事業 学校・家庭・地域連携事業 緊急時情報システム事業 健康づくり月間事業
合 計	52,850	49,227	3,623	

(3) 施設管理費

区 分	令和7年度	令和6年度	増減	説 明 (単位：千円)
区庁舎等	185,705	171,932	13,773	区庁舎、駐車場、公用車、あざみ野行政サービスコーナー
土木事務所	9,014	9,794	▲ 780	青葉土木事務所
公会堂	40,511	40,386	125	青葉公会堂
地区センター等	236,528	228,178	8,350	地区センター6か所、新石川スポーツ会館
ログハウス	10,456	10,039	417	美しが丘公園こどもログハウス
区民文化センター	164,622	159,000	5,622	青葉区民文化センター
老人福祉センター	40,989	39,560	1,429	ユートピア青葉
コミュニティハウス	117,515	114,343	3,172	9か所(鴨志田、さつきが丘、山内、桂台、すすき野、青葉台、みたけ台、荏田西、荏田)
区スポーツセンター	34,943	35,337	▲ 394	青葉スポーツセンター
区庁舎・区民利用施設修繕費	5,234	7,442	▲ 2,208	青葉区総合庁舎、区民利用施設
その他(広場・遊び場)	37,122	36,540	582	子どもの遊び場(6か所) 町のはらっぱ(2か所) 地域スポーツ広場(黒須田) 青葉スポーツプラザ 青葉国際交流ラウンジ 青葉区区民交流センター
合 計	882,639	852,551	30,088	

令和7年度 自主企画事業費 体系別一覧

合計32事業 単位：千円

	令和7年度	令和6年度	増 減	ページ
1 安心して出産や育児ができ、子どもたちの未来を創るまち	18,449	19,049	▲ 600	45
1 乳幼児健康づくり事業	2,334	2,320	14	45
2 子育て支援事業	10,827	9,606	1,221	45
3 市立保育所の地域育児支援事業	1,540	3,570	▲ 2,030	50
4 青少年育成事業	806	806	0	52
5 障害児支援事業	346	416	▲ 70	52
6 児童虐待・DV対策事業	2,596	2,331	265	53
2 健やかに暮らし、いきいきと活躍できるまち	28,424	28,459	▲ 35	53
1 青葉区健康長寿のまちづくり支援事業	2,309	2,672	▲ 363	53
2 地域福祉保健推進事業	3,633	2,593	1,040	55
3 地域包括ケアシステムの推進	2,365	2,020	345	56
4 障害者ふれあい事業	2,212	1,090	1,122	59
5 快適で衛生的な暮らし支援事業	878	1,006	▲ 128	61
6 自治会町内会支援事業	2,141	2,141	0	63
7 あおば地域サポート事業	2,055	2,565	▲ 510	63
8 地域スポーツ振興事業	4,100	4,200	▲ 100	64
9 芸術文化振興事業	5,220	6,543	▲ 1,323	65
10 区民活動支援センター事業	3,511	3,629	▲ 118	66

3 便利で魅力的な選ばれるまち	21,395	18,044	3,351	67
1 まちづくり・データ活用推進事業	8,139	2,529	5,610	67
2 商店街活性化・中小企業振興事業	1,445	2,045	▲ 600	69
3 青葉6大学連携事業	905	905	0	70
4 地域での読書活動推進事業	700	1,399	▲ 699	70
5 区民サービス向上事業	2,580	2,214	366	71
6 利用しやすい区役所づくり事業	7,626	8,952	▲ 1,326	72
4 いつまでも愛着を持って暮らせるまち	16,289	20,709	▲ 4,420	72
1 広報・広聴事業	1,985	2,768	▲ 783	72
2 青葉区民まつり事業	5,675	5,803	▲ 128	73
3 花と緑があふれる街事業	1,712	1,224	488	74
4 青葉区における都市農業の展開	1,650	2,650	▲ 1,000	74
5 メディアによる広報事業	5,267	5,261	6	75
区制30周年記念事業	0	3,003	▲ 3,003	—
5 将来の世代にわたり安全・安心に暮らせる持続可能なまち	20,783	20,452	331	76
1 郊外部における脱炭素化の促進	3,300	1,800	1,500	76
2 青葉まちの美化推進事業	2,994	2,994	0	78
3 地域防犯支援事業	1,599	1,516	83	79
4 交通安全対策事業	4,595	5,860	▲ 1,265	80
5 青葉区防災の街づくり事業	8,295	8,282	13	81
合計	105,340	106,713	▲ 1,373	—

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
1 安心して出産や育児ができ、子どもたちの未来を創るまち	
1 乳幼児健康づくり事業 福祉保健課	
<p>乳幼児期からの健康づくりを支援するため、う蝕（むし歯）予防及び乳幼児期の食育についての教室・講座を行います。</p> <p>（1）ニコニコピカピカ歯磨き教室（乳幼児歯科保健指導教室・個別相談） 乳幼児のう蝕予防に対する知識を普及するため、歯みがき指導・個別相談を行います。 ・実施回数及び実施場所：福祉保健センター 年12回、地域ケアプラザ等 年3回、子育て支援拠点 年6回</p> <p>（2）乳幼児の食育支援事業 乳幼児のころからの「食」を通した健康づくりの普及を図ります。講座を開催し、正しい情報を入手してより良い食行動に結びつくよう支援し、参加者にはリーフレットを配付します。（2,500部作成） ・離乳食スタート講座（4か月～6か月児）：年24回 ・離乳食教室の実施（7か月～9か月児）：年12回 ・離乳完了～幼児食の移行講座（1歳～2歳児）：年32回 ・幼児食育講座（3歳～5歳児）：年34回</p>	<p>福祉保健センター5回 子育て支援拠点：2回 参加者数：延べ92組（7回）</p> <p>参加者数：延べ590組（10回） 参加者数：延べ80組（5回） 参加者数：延べ704組（14回） 参加者数：延べ705組（13回）</p>
2 子育て支援事業 こども家庭支援課	
<p>妊婦とそのパートナー及び子育て中の養育者の育児不安や孤立感を軽減し、安心して子育てができるよう、子育て支援の充実を図ります。実施にあたっては、地域子育て支援拠点や地域の子育て支援者・機関と、連携・協働しながら進めます。</p> <p>（1）つながりミーティング 地域における切れ目のない子育て支援の推進に向け、妊娠期から青少年期までの各分野における子育ての現状・課題や、それぞれの取組について共有する場を設けます。 ・実施回数：年2回</p>	<p>実施日：7月4日 場所：青葉区役所3階会議室 参加者数：22人</p>



[illegible]

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
<p>(7) 子育て支援ネットワーク連絡会＜拡充＞</p> <p>ア 全体会：年3回 区全体の課題を共有しネットワークの構築を図ります。</p> <p>イ 地区別連絡会：年11回（11か所×各1回） 地区の特性を踏まえ、より身近な地域でのネットワークが構築できるよう11か所のエリアに分けて開催します。また、地域子育て支援拠点ラフールに連絡会の運営やエリアごとの課題解決に向けたサポートについて一部委託します。 ・実施場所：地域ケアプラザ</p> <p>ウ 関係機関向け研修会：年1回 子育て支援を担う関係者・関係機関が、支援を受ける人の立場や思いを理解し、頼られるスキルを身に着けるために、関係機関向けの研修会を行います。 ・実施時期：8月</p> <p>エ 出張子育て相談ひろば：年14回 ＜新規＞ 地区別ネットワーク連絡会で話し合われた地域課題を踏まえ、子育て相談や遊び等を通じて養育者の孤立感や育児不安を軽減するための取組として、出張子育て相談ひろば「おでかけラフール」を町内会館や公園等で実施します。地域子育て支援拠点ラフールに一部委託して行います。</p>	<p>ア 実施日：6月26日 参加者数：12人</p> <p>イ 実施日：7月23日（谷本・上谷本エリア） 参加者数：12団体、20人</p> <p>ウ 実施日：8月27日 参加者数：47人</p> <p>エ 実施回数：6回 参加者数（延べ）：101人</p>

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
<p>再配当事業 子育て支援者事業（こども青少年局）</p> <p>「子育て支援者」に育児のちょっとした相談ができる遊び場「ほっこりんこ」については、地区センター等を活用し、区内15か所で週1回実施中です。</p> <p>「子育てしたいまち推進モデル地区」の取組の一環として、令和7年4月から、美しが丘公園こどもログハウスを追加し、毎週金曜日午前中に開催します。</p> <p>再配当事業 地域子育て支援拠点運営事業（こども青少年局）</p> <p>地域子育て支援拠点による「出張ひろば（アウトリーチ型支援）」（※）については、令和2年度以降、神奈川区、港北区、戸塚区で先行実施しており、今後、充実の方向性が示されています。</p> <p>青葉台駅の北に位置するたちばな台、桜台には親子が集える常設の居場所がなく、急激な人口増加が見込まれるエリアであるため、たちばな台町内会館をお借りして、地域子育て支援拠点ラフルが出張する「ふらっとラフルたちばな台」を毎週金曜日に実施します。</p> <p>※「出張ひろば（アウトリーチ型支援）」とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊婦や親子が事前予約なしで利用できる地域子育て支援拠点以外の居場所 ・1日5時間以上、かつ週1日以上実施するもの 	<p>実施回数：22回 参加者数（延べ）：子184人 計340人</p> <p>実施回数：22回 参加者数（延べ）：230組 計499人</p> <div data-bbox="1163 729 1730 1037"> </div> <p>「あおバリューTV」（令和7年7～9月放映中）</p>
<p>局事業 親と子のつどいの広場事業（こども青少年局）</p> <p>未就学児とその保護者が気軽に集う居場所の一つである「親と子のつどいの広場」については、マンションの一室等で、NPO法人などの市民活動団体が区内6か所にて運営中です。</p> <p>市が尾駅から約1キロ以上ある市ケ尾町内（東市ケ尾小学校付近）で、親と子のつどいの広場の運営を希望する団体を新規募集しました。応募があった場合で、かつ選定された際には、令和7年12月の事業開始となります。</p>	

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
<p>（8）こどもの育ち応援事業＜拡充＞ 見通しをもった育児ができることで、養育者の育児不安が緩和され、子どもが健やかに育つことを目指して、養育者向けの講座を実施します。また、日本語でのコミュニケーションが困難な外国人の養育者と子どもを対象としたこんにちは赤ちゃん訪問を実施します。</p> <p>ア 親育ち講座：年3回 幼児期の発達に応じた親の関わり方の具体的な方法を学ぶ講座を開催します。</p> <p>イ 妊娠期からのメンタルヘルス講座：年2回 安心して出産・育児が出来るよう、妊娠中や産後の心の変化について精神科医から学ぶ講座を実施します。妊娠期で体調がすぐれない場合でも気軽に受講できるようWEB形式で開催します。</p> <p>ウ 子育て相談ひろば「にこにこ」：年6回 1歳6か月児健診時にこどもの発達に不安があった養育者を対象に、対面による相談の機会をつくり、その後の経過を確認し、必要な支援につなげていきます。また、家庭内でのより良好な関わりが持てるよう、遊びを通じた発達の促し方等を紹介しします。 ・対象：子どもの発達に不安がある概ね1歳9か月から2歳3か月までの子どもと養育者</p> <p>エ 小児科医による講演会：年1回（2部制：10月22日、29日実施予定） 安心して育児ができるよう地域の小児科医師から、子どもの病気や日常でおこりやすい事故、ケガの対処や予防などについて学ぶ講演会を開催します。乳幼児がいても気軽に受講できるようWEB形式で開催します。 ・対象：0歳から3歳までのこどもを子育てしている方や妊婦の方</p> <p>オ 外国人パパママこんにちは赤ちゃん訪問：年12件 外国語を話せるボランティア等による訪問を実施します。</p> <p>カ 産前産後のからだケア：年34回 ＜新規＞ 養育者の心身のリフレッシュと産後うつ予防に向けて、育児に関する身体の使い方やトラブル・痛みを予防する姿勢づくりのためのストレッチを指導する機会を設けます。</p>	<p>実施日：7月12日 参加者数：20人</p> <p>実施回数：2回 参加者数：35組75人</p> <p>訪問件数：7件</p> <p>実施場所（通年）：地域子育て支援拠点、子育て支援者会場、親と子のつどいの広場 実施回数：7回 参加者数（延べ）：38人</p>

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
<p>（9）子育て情報発信事業＜拡充＞</p> <p>子育て世代が地域とつながり、孤立することなく子育てできるよう、地域に密着した情報を発信するために地域子育て支援拠点のホームページを7月31日から拡充します。区の子育て情報発信アプリ「Aonico」については、「パマトコ」が横浜市のイベント情報の発信や各種オンライン申請もできることを踏まえて、9月に終了し、「パマトコ」へ一本化します。</p>	<p>青葉区子育て情報発信アプリ 「Aonico（あおにこ）」 登録者数：4,397人（8月29日時点） 7月31日からホームページ拡充</p>
<p>3 市立保育所の地域育児支援事業 こども家庭支援課</p>	
<p>市立保育所が、妊婦や在宅で子育てをしている乳幼児の保護者を中心に、ニーズに合わせた「つながり」を作る育児支援を実施し、子育ての不安や悩みの解消や家庭での育児力の向上を図ります。</p> <p>（1）保育園子育てスマイル事業</p> <p>ア 園庭開放・育児講座</p> <p>公立園の施設を地域に開放し、保育士及び保育ボランティアとの交流やノウハウの提供を通じて、地域における育児力の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園庭開放：①美しが丘保育園 5日/週 ②荏田保育園 5日/週 ③奈良保育園 2～3日/週 ④すすき野保育園 3日/週 ・育児講座：4園合計 15回/年程度 <p>イ 育児相談・子育てトーク</p> <p>個別具体的な育児に対する悩みや不安の解消に向け、公立保育園での保育士との対面相談に加え、Zoomを活用したオンライン相談「子育てトーク」を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育児相談：美しが丘保育園・荏田保育園 5日/週、 奈良保育園・すすき野保育園 1日/週 ・子育てトーク：2枠/週（美しが丘保育園・荏田保育園）実施 	<p>園庭開放 実施回数：延べ220回（7月末時点） 参加者数：保護者等202人、 未就学児221人（4園合計）</p> <p>育児講座、交流保育 実施回数：延べ11回（7月末時点） 参加者数：保護者35人、 未就学児36人（4園合計）</p> <p>育児相談 実施回数：延べ216件（7月末時点） （対面150件 電話66件）</p>



事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
<p>ウ 育児支援事業</p> <p>Instagram「おかわりなしかちゃんねる」にて、保育園の日常や家庭で役に立つ子育て情報、区内保育園の紹介等を月数回さまざまな内容で配信します。これまで配信してきたYouTubeチャンネル「なしかちゃんねる」を教材的に活用し、育児支援イベントを開催することで、子育てを楽しみ、つながり合える環境整備を図ります。市立保育所だけでなく、民間保育園や区内施設等との連携を推し進め、地域で子育てを応援する体制の構築を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Instagramの配信：2～3回/月 ・育児支援イベント：3回/年（エリアでの開催を含む） <p>エ 保育所給食体験</p> <p>地域の乳幼児が園児と一緒に保育園の給食を体験することにより、食を通じた乳幼児の健全育成を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提供食数：年40食 ・実施場所：市立保育所4園 <div data-bbox="121 815 1394 1131" data-label="Complex-Block"> <div>  <p>青葉区公式 Instagram「おかわりなしかちゃんねる」</p>  <p>NASHIKACHANNEL</p> </div> <p>子育て中の保護者の方向けに、保育園で人気の給食レシピや公立保育園の園庭開放、育児講座のお知らせ等を配信しています。保育園の紹介や保活に関する情報も随時更新しています。</p> </div>	<p>Instagram 配信回数 24 回（8月末時点）</p>

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
4 青少年育成事業 こども家庭支援課	
<p>学齢期・青年期に至るまで、切れ目のない支援体系を構築し、青少年育成の充実を図ります。また、地域や施設における連携のもとでの支援を一層促進し、地域で青少年を見守る風土を醸成します。</p> <p>（１）保護者向け講演会の実施 小1の壁の不安軽減につながる講演や参加者同士の交流を通じて、孤立しない子育て環境づくりを推進します。 ・実施時期：9月20日 ・実施場所：区役所及びWEB</p> <p>（２）多世代交流等による青少年育成事業 青少年の地域活動拠点と連携し、中学生・高校生・大学生ボランティアによる小学生を対象とした学習支援「みんなの学習室」を実施し、小学生の多世代交流の機会を提供します。 ・実施時期：夏休み、冬休み、春休み ・実施場所：青少年の地域活動拠点、地域ケアプラザ、地区センター</p>	<p>実施時期：7～8月 実施回数：計12回 実施場所：青少年の地域活動拠点 地域ケアプラザ、地区センター等7か所 参加人数：小学生114人、中高大学生ボランティア76人</p>
5 障害児支援事業 こども家庭支援課	
<p>発達面や知的・身体的に配慮が必要な児童とその養育者や支援者を対象に啓発を進め、適切な支援につなぎます。また、地域資源をまとめた「きらきらマップ」等を活用し、養育者と支援者、支援者同士、さらに地域も含め連携を深めます。</p> <p>（１）研修会開催 当事者・支援者・学校・地域の方々がつながり続けられるよう連携を強化するとともに、支援者向け研修を実施し、スキル向上を支援します。また、「サポートファイル かけはし」の活用に関する普及啓発に取り組みます。 ・実施回数：年1回（12月予定）</p> <p>（２）地域資源マップ 障害児とその養育者が、より地域とつながるきっかけを得られるよう、地域資源をまとめた「きらきらマ</p>	

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
<p>ップ」について、新規開設事業所の追加等、最新の情報を掲載するため改訂します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成部数：1,500部 ・作成時期：2月 	
6 児童虐待・DV対策事業 こども家庭支援課	
<p>児童虐待やDVなど不適切養育を防止するため、児童虐待防止対策や女性福祉相談の支援を強化します。</p> <p>（1）児童虐待対策事業</p> <p>ア 保育施設職員向け研修会 養育不安、相談へ迅速・適切に対応できるよう、保育施設職員向け連絡会及び研修会を実施します。 ・実施回数：年1回</p> <p>イ 支援強化検討会（区職員向け研修会） 虐待対応の専門性を高めるための研修会を実施します。 ・実施回数：年2回</p> <p>ウ 見守り保育付き相談＜拡充＞ 相談等が気軽にできるよう、見守り保育を実施します。 ・実施時期：通年 ・実施回数：週3回程度（4月～3月、ただし年度始め等は週5回実施）</p> <p>（2）DV専門相談 DVや離婚に詳しい弁護士による法律相談を実施し、DV被害者が抱える離婚や親権等の法律的問題について、専門的知見からの支援を行います。 ・実施回数：月2回（年24回）</p>	<p>実施回数：73回 相談件数：延べ945回</p> <p>実施回数：10回 相談件数：20件</p>
2 健やかに暮らし、いきいきと活躍できるまち	
1 青葉区健康長寿のまちづくり支援事業 福祉保健課	
<p>「あおばに住んで、健康、長生き」を実感できるよう、区民の皆様が身近なところで気軽に実践できる健康づく</p>	


事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
<p>りの取組を展開します。</p> <p>（１）健康フェスティバル事業 保健医療・生活衛生関係団体を中心とする諸団体の参加による健康啓発イベントを開催します。 ・実施時期：11月</p> <p>（２）ウォーキング普及啓発事業 保健活動推進委員会等と連携し、ウォーキングの普及啓発を行います。</p> <p>ア 地域での活動の企画・運営支援</p> <p>（ア）保健活動推進員向け研修 ・研修会：随時開催</p> <p>（イ）各地区での活動の企画・運営支援 ・ウォーキング部会における知識・技術の共有</p> <p>（ウ）ウォーキングイベント ・保健活動推進員と連携したウォーキングイベントの実施</p> <p>イ 区民向け情報提供ウォーキングマップの改訂・印刷 ・既存コース（22コース@800部）：7月～12月 ・ウォーキングコースの作成</p> <p>（３）食育推進普及啓発事業 食育啓発事業 健康づくりに役立つ、食を中心とした講習会及び啓発動画の作成を食生活等改善推進委員会に委託して実施します。また、食事バランス向上に向けた野菜摂取促進の啓発を行います。</p> <p>・講習会：年6回 ・野菜摂取促進啓発：年4回 ・動画作成（～3月）</p>	<p>歩き方研修 実施日：7月3日 参加者数：32人</p> <p>保健活動推進員ウォーキング部会 1回実施</p> <p>既存コース改訂・増刷 計14,600部（8月）</p> <p>講習会（1回、331人） 野菜摂取促進啓発（1回、142人）</p>

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
2 地域福祉保健推進事業 福祉保健課	
<p>住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域と協働して課題解決に取り組み、身近な地域で支えあいの仕組みづくりを進めることを目的に策定した第4期青葉区地域福祉保健計画（青葉かがやく生き生きプラン）（3年度～7年度）を推進します。また、第5期地域福祉保健計画を策定します。</p> <p>（1）地域福祉保健推進会議 区内の福祉・保健・医療等の各分野の代表者及び学識経験者で構成し、青葉区の地域福祉保健関係事業の推進について幅広く協議するとともに、地域福祉保健計画の推進・評価に関して意見交換を行います。 ・実施回数：年2回（上半期1回、下半期1回）</p> <p>（2）地域福祉保健計画策定・推進検討会 青葉区地域福祉保健計画の推進に携わっている各種団体及び学識経験者で構成し、各地区別計画推進会議で進めている取組や課題となる事項等を共有するとともに、区域全体の取組や課題を検討します。 ・実施回数：年3回（上半期1回、下半期2回）</p> <p>（3）福祉保健活動事例発表会 青葉区地域福祉保健計画を広く周知するとともに、地区別計画における地区の取組事例の発表会を開催します。 ・実施回数：年1回（社会福祉大会と同時開催予定） ※12月10日実施予定</p> <div data-bbox="1045 834 1446 1065" data-label="Image"> </div> <p>福祉保健活動事例発表会の様子(R6.12)</p> <p>（4）地区サポートチーム研修 青葉区地域福祉保健計画地区別計画の推進にあたり、地区サポートチームを対象とした研修会を実施します。 ・実施回数：地区サポートチーム研修 年1回以上実施 地区サポートチーム会議 各地区年3回実施</p> <p>（5）地域福祉保健計画の啓発・推進＜拡充＞ 第5期地域福祉保健計画の策定を行うとともに、第4期計画の取組推進及び最終評価に向けた振り返りを</p>	<p>8月（資料送付のみ）</p> <p>実施日：7月17日</p> <p>地区サポートチーム研修 実施日：6月6日 参加者：64人</p> <p>第5期計画の意見募集実施：8月25日～10月10日</p>

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
<p>行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成部数：冊子3,000部、概要版5,000部、中学生版3,000部 ・作成時期：3月（公表：4月） <p>（6）青葉ふれあい見守り事業</p> <p>概ね70歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の世帯等への月1回程度の訪問や見守り活動を、地区民生委員が中心となり保健活動推進員等と協力して実施します。</p> <p>民生委員が欠員となっている地区の見守り活動等に補助金を交付し、民生委員の負担軽減を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象世帯数：約1,500世帯 ・代表者会議：年1回 ・見守り活動の実施（随時） ・欠員地区16地区（全298地区、令和7年8月時点） 	<p>補助金申請：欠員16地区中11地区</p>
<p>3 地域包括ケアシステムの推進 高齢・障害支援課</p>	
<p>超高齢社会においても、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、必要なサービスを切れ目なく提供するための「地域包括ケアシステム」の取組を推進します。</p> <p>（1）シニアの社会参加推進事業</p> <p>eスポーツを活用した高齢者の社会参加促進に向けた事業展開を行うとともに、かがやきクラブ青葉の活性化を支援します。</p> <p>ア 高齢者向けeスポーツ事業＜拡充＞</p> <p>eスポーツを活用した高齢者の社会参加促進や通いの場づくりを目的に、地域団体や区内施設等と連携し、eスポーツの普及啓発及び地域での自主的な実施に向けた体験会や講座を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：通年 ・実施場所：区内各所 <p>また、eスポーツの楽しさや手軽さを効果的に伝えるためのロゴ及び動画を作成し、eスポーツに取り組む団体の拡大を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロゴ作成：7月 ・動画作成：9月（公表予定） 	<p>ロゴ作成：7月</p>   <p>eスポーツ体験会の様子（R6.8）</p>

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
<p>イ 高齢者生きがいづくり支援事業 「かがやきクラブ青葉」（青葉区老人クラブ連合会）の活動支援を通じて、高齢者の生きがいづくりや仲間づくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シニアいきいき芸能大会 実施時期：11月22日 実施場所：青葉公会堂 <p>ウ 敬老祝品贈呈事業 区内最高齢者に区から祝状を贈呈します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：敬老月間（9月） <p>（2）高齢者支援事業＜拡充＞ 地域包括ケアシステムの推進を目的に、青葉区の特性を踏まえた高齢者の健康づくり・介護予防、医療・介護連携、認知症施策等を推進します。</p> <p>ア 医療・介護連携促進 医療と介護の連携促進を目的として、多職種による「顔の見える場づくり会議」を引き続き開催し、連携強化に向けた検討・情報共有を行います。会議の実施にあたっては、WEB 会議による実施も継続します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容：多職種連携による支援のための情報共有 等 ・実施方法：実地開催及びWEB 開催 ・実施回数：年4回（5、9、12、3月） <p>イ 認知症施策推進事業 認知症になっても安心して暮らすことができるまちを目指し、見守りネットワークの強化や啓発活動等を推進します。</p> <p>（ア）青葉区高齢者安心ネットワーク 認知症に対する理解促進及び地域の見守り体制づくりの促進のため、「認知症サポーター」のいる店や事業所等を「認知症サポート事業所」として登録・周知し、希望する事業所には「認知症サポート事業所ステッカー」を配付します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポート事業所ステッカーの作成：500枚 ・認知症サポート事業所登録制度チラシの作成：1,500枚 ・高齢者安心ネットワーク連絡会の開催：年1回 	 <p>シニアいきいき芸能大会（R6.11）</p> <p>実施回数：1回（5月8日） 参加者数：区内医療・介護関係機関代表者等（21団体）</p> <p>高齢者安心ネットワーク連絡会 実施時期：5月29日 参加者：地域包括支援センター、警察、消防、民児協等（14名）</p>

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
<p>(イ) 認知症支援・啓発活動の実施 ＜拡充＞</p> <p>認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を応援する「認知症サポーター」を増やす取組である「認知症サポーター養成講座」で講師役となる「認知症キャラバン・メイト」の活動を支援します。「キャラバン・メイト連絡会」でメイト同士連携を深め、活動の充実が図れるよう支援します。</p> <p>また、世代を問わず広く普及啓発を進めるために映画上映イベントを新たに実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画イベント実施時期：10月4日（土） ・実施場所：青葉公会堂 ・タイトル：長いお別れ ・イベント広報チラシ：5,000枚 ・オレンジリング購入：1,200個 ・キャラバン・メイト連絡会の活動支援 <p>キャラバン・メイト連絡会 年2回（6月、1月）</p>	<p>映画イベント：広報9月号、区ホームページ、SNS、認知症月間パネル展示等で周知。</p> <p>オレンジリング：学生向けのサポーター養成講座で配布予定。</p> <p>キャラバン・メイト連絡会： 第1回、6月26日、参加者数30人</p>
<div data-bbox="1066 472 1331 850" data-label="Image"> </div> <p>10月4日映画イベントチラシ</p> <div data-bbox="130 958 558 989" data-label="Section-Header"> <p>再配当事業 主な事業（健康福祉局）</p> </div> <div data-bbox="157 987 373 1018" data-label="Section-Header"> <p>(1) 介護予防事業</p> </div> <div data-bbox="214 1016 1329 1107" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防普及啓発事業（フレイル予防講演会）・介護予防把握事業（JAGES活用研修会） ・地域介護予防活動支援事業（ハマトレキヤスト養成講座、リハ職との情報交換会） ・元気づくりステーション事業 等 </div> <div data-bbox="157 1107 401 1136" data-label="Section-Header"> <p>(2) 認知症支援事業</p> </div> <div data-bbox="214 1136 1344 1196" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> ・もの忘れ相談：年12回、精神科嘱託医師による面接・訪問による相談の実施 ・認知症初期集中支援チーム事業：横浜総合病院と連携した対象者支援、検討委員会の開催 等 </div> <div data-bbox="157 1196 506 1227" data-label="Section-Header"> <p>(3) 医療・介護連携推進事業</p> </div> <div data-bbox="214 1226 663 1256" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護連携研修の実施 等 </div> <div data-bbox="157 1255 506 1286" data-label="Section-Header"> <p>(4) 市民の意思決定支援事業</p> </div> <div data-bbox="214 1286 1186 1347" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見サポートネット：専門職会議の開催（年4回）と市民後見人活動の支援 ・エンディングノート普及啓発：各地域ケプラザでの啓発講座支援 </div>	

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
4 障害者ふれあい事業 高齢・障害支援課	
<p>当事者・支援者・地域の方々がつながることで適切な支援に結びつくよう、地域の支え合いによる障害者支援の充実及び障害者の社会参加を支援する事業を実施します。</p> <p>（1）障害児者福祉普及啓発事業 障害福祉に関する普及啓発講演会・研修・事業等を実施します。</p> <p>ア 重症心身障害児者普及啓発事業 重症心身障害児者や医療的ケアを必要とする方やご家族が、地域で安心して安全に暮らし続けることができるよう、前年度の30周年記念事業で好評であったユニバーサル野球イベントを実施します。（9月の広報で参加者募集。） ・実施時期：10月18日（土）</p> <p>イ 精神保健福祉普及啓発事業 精神疾患に対する理解促進を目的に講演会を実施します。 令和7年度は発達障害に関する連続講座を実施します。 ・実施回数：3回 ・実施時期：令和7年12月、令和8年1月、2月</p>	 <p>ユニバーサル野球イベントの様子（R6.10）</p>
<p>コラム ユニバーサル野球 障害のある人もない人も一緒に楽しめるよう開発された、大型の野球盤を用いたスポーツです。バッターボックスに立つと、まるで野球場にいるような臨場感が味わえ、身体に麻痺のある方や、筋力の弱い方でも野球を楽しむことができます。</p>	
<p>（2）障害児者支援事業 障害者とボランティアの農を通じた交流であるふれあい農園事業を継続して実施します。 区内の障害福祉に関する相談窓口やサービス提供事業所等をまとめた当事者向け冊子『あおばでくらす』と、自主製品販売事業所の紹介冊子『青葉のモノ語り』を作成してきました。令和7年度は区民の皆様の手にとっていただきやすくするため、『あおばでくらす』に『青葉のモノ語り』を1冊に統合します。 その他、障害者手帳交付時の区役所滞在時間を短縮し、またご自宅等でもご希望に応じた制度やサービスが確認できるような動画コンテンツを作成します。</p>	

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
<p>ア ふれあい農園 障害者と区民ボランティアの農を通じた交流を支援します。 ・実施時期：通年（毎週木曜日） ・実施場所：農園所在地 下谷本</p> <p>イ 「あおばでくらす」改訂 ・作成部数：3,000部 ・作成時期：3月</p> <p>ウ 「ふれあいマルシェ」における自主製品販売促進 障害者施設が作る自主製品販売の機会を拡大するため、区役所で展開する「ふれあいマルシェ」における出店に係る活動を支援します。</p> <p>エ 障害者手帳交付時の説明動画作成＜新規＞ お客様の待ち時間の短縮及び、場所や時間を問わずに閲覧できることを目的に、障害者手帳に関する制度説明動画を作成します。 ・作成時期：9月（公表予定）</p>	<p>ア 参加者数（月平均）35人 （内訳：当事者 8～10人 ボランティア 28～30人）</p>
<div>再配当事業</div> <p>○精神保健福祉対策事業（健康福祉局）・精神保健相談：年12回、精神科嘱託医による面接・訪問による相談を実施 ・精神障害者生活教室：年24回、区役所で社会復帰への適応の促進や再発予防・早期発見を目的とした集団援助活動を実施。 ・精神障害者家族教室：年6回、当事者を支える家族の学習・交流の場を提供</p> <p>○障害者虐待防止対策支援事業（健康福祉局） ・青葉区自立支援協議会権利擁護研修委員会主催 支援者向け研修：年1回</p> <p>○トップスポーツチーム連携事業（にぎわいスポーツ文化局） ・日体大 SMG 横浜、東急 S レイエス FC とのサッカー体験イベント：年1回</p>	

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
5 快適で衛生的な暮らし支援事業 生活衛生課	
<p>日常生活で最も身近な食品医薬品、居住環境、ペットなどの問題について、適切な情報提供や啓発に取り組むとともに施設等への監視指導や検査を実施し、区民の快適な生活を支援します。</p> <p>（1）食品衛生普及啓発事業</p> <p>飲食店や家庭、地域行事等における食中毒などの食品事故発生防止のため、自主衛生管理を推進します。 また、社会福祉施設、食事サービス実施団体等に対し、衛生管理支援を行います。</p> <p>ア 食品衛生講習会</p> <p>（ア）実施時期：8月から12月（5回） ・対象者：飲食店等の食品衛生責任者</p> <p>（イ）実施時期：2月 ・対象者：食事提供ボランティア</p> <p>イ 営業者、区民の皆様等への食中毒予防啓発、自主衛生管理推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報よこはま青葉区版掲載（6月号） 掲載内容：食中毒予防啓発 ・パネル展 山内図書館：6月 青葉区役所：8月 区民まつり（健康フェスタ）：11月 ・チラシ配布 随時 <p>ウ 高齢者施設、保育所、高齢者食事サービス実施団体、こども食堂等への個別衛生管理支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：随時 	<p>参加者数：41人（8月27日）</p> <p>掲載内容：「家庭での食中毒に気を付けよう！」</p> <p>実施日：6月17日～30日 実施日：8月25日～29日</p> <p>感染症発生時の食中毒予防支援 実施回数：2回（4月～6月） こども食堂実施団体向け出前衛生講習会 実施時期：5月 参加人数：38人</p> <p>その他：食中毒予防啓発に関するホームページ情報の更新 実施時期：6月 実施内容：食中毒キャラクター及び食中毒予防ポイント等の掲載</p>



食中毒予防パネル展



事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
<p>（2）動物の適正飼育推進事業</p> <p>犬猫の飼育にかかるトラブルの減少と健康的な終生飼育が行われるよう、適正飼育に関する啓発、相談を実施します。また、区民から相談の多いハチやネズミ等に関する啓発や防除物品の貸出等を行います。</p> <p>ア 犬猫の適正飼育に関する相談対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：通年 <p>イ マナー啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> （ア）広報よこはま青葉区版掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：3月 （イ）区役所展示スペースでのパネル展 <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：9月 （ウ）広報車によるマナー啓発（ふん尿の持ち帰り、リードの持ち方等） <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：通年 （エ）狂犬病予防注射集合会場での啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：4月 <p>ウ ハチ、ネズミ等の防除に関する相談、物品の貸出</p> <ul style="list-style-type: none"> （ア）広報よこはま青葉区版掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：5月（ハチ等）、2月（ネズミ） （イ）物品の貸出 <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：通年 	<p>実施回数：2回</p> <p>実施回数：4回 チラシ配付部数：540枚</p> <p>捕鼠かご貸出：6件 ハチ防護服貸出：12件</p>

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
6 自治会町内会支援事業 地域振興課	
<p>地域の抱える課題を解決していくため、自治会・町内会を中心とする地域団体と行政との連携を推進します。</p> <p>（１）自治会・町内会連携促進事業</p> <p>ア 青葉区連自治会長会定例会 自治会・町内会との連携強化のため、8月と12月を除き、毎月情報提供を行います。 ・実施時期：8月及び12月を除く毎月</p> <p>イ 自治会町内会長感謝会 日頃から地域社会の振興に多大な役割を果たし、市政・区政に協力していただいている自治会・町内会長の労をねぎらうため、自治会町内会長感謝会を開催します。 ・実施時期：3月</p>	<p>実施回数：4回</p>
7 あおば地域サポート事業 地域振興課	
<p>地域に踏み出す「きっかけづくり」と地域の「つながりづくり」に連携して取り組み、地域活動の活性化を図るとともに、区民の皆様が地域活動を始めるとき、主体的・継続的に地域活動に取り組めるように支援します。</p> <p>令和6年度までに実施してきた「青葉みらいづくり大学校」をこれまでの実績や効果を踏まえ、参加者層を広げ、より地域ニーズに合った、地域課題解決応援事業「あおばちえのわ」に転換します。</p> <p>（１）地域課題解決応援事業「あおばちえのわ」＜新規＞ 地域活動のヒントとなる事例の共有や活動団体同士の交流を目的とする講座を開催し、課題解決やつながりづくりを行います。 ・実施回数：3回程度（8、10、12月） ・参加人数：各回30名程度 ・対象：区内で地域活動を行っている人・団体</p> <p>（２）あおばスタート補助金 地域課題の解決や既存の取組の拡大を行う団体を対象に、自治会町内会と連携・協力して実施する地域課題解決の取組を支援するため、補助金を交付します。</p>	<p>＜あおばちえのわ第1弾＞ 実施日：8月28日 テーマ：活動仲間の集め方！ 受講者：21人</p> <p>申請期間：4月～11月 事前相談件数：12件 交付決定件数：2件</p>

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
<p>(3) 区民利用施設交流会 地域情報や課題の共有を促すために、地区センター、地域ケアプラザ、コミュニティハウスなどの区民利用施設を対象に交流会を開催します（9月25日）</p> <p>(4) 青葉みらいづくり大学校 青葉みらいづくり大学校卒業生の地域での活動を支援するため、伴走支援として、コーディネーターを交えた卒業生同士の交流会（同窓会）を開催します。 ・みらい大学校卒業生交流会実施時期：6月28日</p>	<p>参加者数：9人</p>
8 地域スポーツ振興事業 地域振興課	
<p>区民の皆様の協力を得て行う参加型スポーツイベントの実施等、スポーツを通じた地域のつながりの形成・活力ある地域づくりの促進に努めます。また、地域におけるスポーツ振興を担うスポーツ協会の活動を支援します。</p> <p>(1) スポーツ振興イベント（区民マラソン大会） 地域住民、各団体との協働により青葉区在住・在勤・在学者を対象とした区民マラソン大会の開催を支援するため、運営委員会に対し、補助金を交付します。 ・第12回青葉区民マラソン大会（参加者募集7月28日、実施11月30日）</p> <p>(2) スポーツ振興イベント（トップスポーツチーム連携事業）＜拡充＞ 市内トップスポーツチーム（横浜 DeNA ベイスターズ、日体大 SMG 横浜、横浜 F・マリノス、横浜ビー・コルセアーズ）と連携し、普段スポーツに興味のなかった層にも観戦に来てもらえるような催しを交えた区民ディを開催します。子どもたちがチームからレクチャーを受けるなど、身近にスポーツに触れる機会を創出します。</p> <p>(3) スポーツ協会補助金 区民の皆様が参加できる各種スポーツ大会・講習会の開催や生涯スポーツの振興に向けた活動を行う、青葉区スポーツ協会に対し補助金を交付します。</p>	<p>運営委員会の開催（4月、6月）</p> <p>参加者募集：初日に終了 募集人数：1,000人</p> <p>青葉区スポーツ協会総会 実施日：5月</p>

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
9 芸術文化振興事業 地域振興課	
<p>区内で芸術文化活動を行う団体に補助金を交付し、協働して区民が創作・発表・観賞等ができる事業を展開します。また、青葉区の財産であるアート資産などを生かし、魅力として発信していきます。</p> <p>（１）青葉区民芸術祭事業 青葉公会堂やアートフォーラムあざみ野などの身近な施設で、区民が参加や鑑賞する様々な芸術文化の発表の場を作り、身近なものとして関心を高め親しむ機会とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青葉コーラスのつどい（7月） ・青葉区民音楽祭（11月） ・青葉区民芸能祭（12月） ・青葉区民芸術祭作品展（11月～12月） <p>（２）区民ホールコンサート事業 お昼休みのミニコンサートのほか、小学生から高校生までがフィリアホールでのオーディションを経て出演するジュニアフェスティバルを開催し、音楽に親しむ機会を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お昼休みのミニコンサート（プロの音楽家の演奏）（毎月第3水曜日（5月・8月を除く）） ・ジュニアフェスティバルオーディション（5月） ・ジュニアフェスティバル（8月） <p>（３）シニアコンサート事業 高齢者がフィリアホールで自らの演奏発表の場を得ること、またその姿を身近で応援することで地域の活性化と区民の健康長寿に寄与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「65歳からのアートライフ」演奏会（7月、2月） <p>（４）郷土の歴史を未来に生かす事業 青葉区の歴史の伝承と郷土愛の醸成を目的に歴史に関する講座や講演会などを実施し、地域の歴史文化に触れる機会を提供します。</p>	<p>青葉区民芸術祭運営委員会の開催 青葉コーラスのつどい 実施日：7月6日 出演団体数：46団体 来場者数：1,466人</p> <p>お昼休みのミニコンサート 4月、6月 延べ来場者数：320人</p> <p>ジュニアフェスティバルオーディション 実施日：5月10日 出演者数：28組33人</p> <p>ジュニアフェスティバル 実施日：8月6日、7日 出演者数：7人 来場者数：182人（2日間合計）</p> <p>実施日：7月13日 来場者数：230人</p> <p>青葉のあゆみ歴史探訪講座 6月、7月、8月 延べ参加者数：219人</p>

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
<p>・青葉のあゆみ歴史探訪講座（6～1月／年8回） ・青葉のあゆみ連続歴史講演会（11月、2月／年2回）</p> <p>（5）あおば美術公募展事業＜拡充＞ アートフォーラムあざみ野を活用し、区民の美術に親しむ心と創造意欲を育み、交流の機会を提供することで、一層の文化・芸術振興を図ります。開催10周年となるため賞の拡充等を行います。（7月）</p> <p>（6）AOBAデジタル・アートミュージアム 区Webページで、青葉区のアートの魅力を発信します。</p>	<p>あおば美術公募展 展示期間：7月5日～13日 出品者数：119人（172点） 入選作品数：140点（うち、26点表彰） 来場者数：2,282人</p> <p>区Webページ公開開始：4月</p>
10 区民活動支援センター事業 地域振興課	
<p>区内の市民活動や生涯学習を総合的に支援するため、相談・コーディネートや情報発信のほか、講座や交流イベント等を通じて、地域活動の担い手を育成し、地域のつながりづくりを推進する事業を実施します。</p> <p>（1）区民活動支援センター事業 ア 区民活動支援センター事業 区民がまちで生き活きと活動し、まちを元気に魅力的にする“まち活”をキーワードに、区民の学びや出会い、交流の場を提供するとともに、市民活動に携わる様々な分野の人や団体が活動の幅を広げる場を創出、つながりづくりを支援します。 （ア）相談・コーディネート・情報提供 市民活動・生涯学習に関する相談を受け付け、区内で活動する団体や生涯学習に関する講師等について、情報発信及びコーディネートを行います。また活動に役立つ情報や地域の活動団体情報をまとめた情報紙「Info まち活」の発行（月1回、1,000部）及びメルマガジンの配信をします。 （イ）“まち活”de つながり事業 ・まち活カフェ＋（年7回） ・まち活フォーラム（活動団体の交流会）（2月） ・まち活ギャラリー 等</p>	<p>相談対応・コーディネート件数： 延べ314件</p> <p>メルマガ登録者数：408人</p> <p>まち活カフェ＋ 5月、7月、8月 延べ参加者数44人 まち活ギャラリー 申込団体数：16団体</p>

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
<p>（ウ）区民活動支援センターde 区民まつり事業 区民活動支援センターに登録している「活動団体」の活動発表の場として、区民活動支援センターde 区民まつり 2025 を開催します。（11月）</p> <p>（エ）区民交流センターまつり事業 区民交流センター・田奈駅前広場を会場に区内で活動する団体及び地域と協働して、区民交流センターまつりを開催します。（11月）</p> <p>（オ）市民活動支援講座 市民活動を支援する講座等を開催します。（6月、1月）</p> <p>（カ）スマホ相談会 令和5年度市民活動支援講座で発足したボランティアグループ「青葉・スマホサポーター」と協働し、区内の地域活動におけるICTの利活用の推進を目的に開催します。（年7回）</p> <p>イ 地域デビュー応援講座 地域活動の担い手育成を目的に講座を開催するとともに、受講生が地域課題解決に向けて活動ができるように支援します。（9月～10月、全6回・フォローアップ講座含む。）</p> <p>ウ 青葉区区民企画運営講座 地域デビュー応援講座の受講生が団体を結成し、地域課題の解決及び地域活性化に向けた講座を企画・運営する事業に補助金を交付します。</p>	<p>市民活動支援講座 6月 参加者数：30人</p> <p>スマホ相談会 4月、6月、8月 延べ参加者数：24人</p> <p>交付済団体数：4団体</p>
3 便利で魅力的な選ばれるまち	
1 まちづくり・データ活用推進事業 区政推進課、総務課、税務課	
<p>時代とともに変化する区民ニーズを捉えた地域課題の解決を推進するため、地域や関連機関との情報共有及び統計データの分析・活用を行います。</p> <p>（1）あおば街づくり連絡協議会 区内事業者・団体がより良い街づくりに向けた情報共有・意見交換を行うため、あおば街づくり連絡協議会を開催します。 ・実施時期：11月～12月頃</p>	

68

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
2 商店街活性化・中小企業振興事業 地域振興課	
<p>各商店会への情報提供や、商店街イベントの支援、広報PRを行い、商店街活性化を図ります。また、地域や企業と連携した起業支援イベント等を行い中小企業の振興を図ります。</p> <p>（１）商店街活性化事業 区全体の商店街活性化につながるよう、商店街連合会が実施する事業を支援します。 ア 商店街連合会が実施するイベント等への補助金の交付 ・交付時期：9月 イ 商店街主催イベント等の広報 （ア）広報よこはま区版7月号で夏のイベントを掲載 （イ）広報よこはま区版12月号で商店街年末年始イベントを掲載 （ウ）商店街お散歩マップの配布</p> <p>（２）中小企業振興事業 起業支援セミナーの開催 青葉区内の地域団体や企業と連携しながら、区内企業を育成するための起業支援イベントを開催します。連続講座として実施し、受講者の青葉区における起業に向けた基本的な知識の習得を支援することで、中小企業の振興に寄与します。 ・実施時期：1月～3月（予定）</p>	<p>申請案内配付：5月 申請団体数：7団体</p> <p>お散歩マップを区所管施設等に配架</p>

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
3 青葉6大学連携事業 区政推進課	
<p>区内にキャンパスを有する6つの大学（國學院大學、星槎大学、玉川大学、桐蔭横浜大学、日本体育大学、横浜美術大学）と締結した連携・協力に関する基本協定に基づき、区・大学双方の魅力発信や地域課題の解決に向けた取組を連携して行います。</p> <p>（1）代表者会議等の開催 連携を深めるため、各種会議を開催します。 ・代表者会議（年1回）、担当者会議（年5回程度） ・実施場所：青葉区役所会議室、各大学会議室等</p> <p>（2）学生による地域の課題解決事業＜新規＞ 学生が主体的に地域課題の解決に向けて企画実施する取組を区として支援します。 ・実施時期：12月頃（学生による地域のごみ拾い活動を実施予定） （予定）場所：区役所または駅周辺、内容：エリア内でごみを拾い、その質と量をポイントで競い合う「スポ GOMI 大会」</p>	<p>代表者会議 実施日：6月26日 内容：意見交換（職員や学生などが取り組んでいる脱炭素化をはじめとした環境に関する取組について）、各大学・区の取組の共有</p> <p>担当者会議 実施回数：2回</p>
4 地域での読書活動推進事業 こども家庭支援課	
<p>横浜市民の読書活動の推進に関する条例に基づき策定した青葉区民読書活動推進目標の実現に向け、山内図書館、区民利用施設等と連携しながら、本に親しむ環境作りに加え、区内の施設や読書活動ボランティア同士の連携を図ります。</p> <p>読書活動推進事業 区内14施設に対し蔵書の充実を図るため図書類を更新、山内図書館のCDブックの充実を図るためCDブックを更新します。また、読書活動推進に係る講演会及び施設や読書活動を行う団体等の交流会等を開催します。 ・実施時期：4月～9月（図書類及びCDブックの更新）、9月～12月（読書講演会）、9月～3月（団体等交流会）</p>	

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
5 区民サービス向上事業 総務課、戸籍課、保険年金課	
<p>区民、来庁者に対する接遇及びおもてなしの向上に向けて、改善を図ります。具体的には職員向けの研修、戸籍課窓口の混雑対策等を実施します。</p> <p>（１）CS・ES向上研修等（※CS：顧客満足度、ES：職員満足度） 窓口対応のレベルの維持・向上のため、外部講師による研修を実施します。 ・仮ナンバー事務（通年） オンライン申請にかかるシステム利用料</p> <p>（２）人権啓発講演会 人権問題に対する正しい理解と認識を深めることを目的に、市民の皆様や職員を対象とした人権啓発講演会等を実施します。 ・実施時期：2月予定</p> <p>（３）戸籍課窓口の混雑対策 来庁者及び入電数が増加する繁忙期に電話対応の一部を委託することで、窓口対応の体制を確保するとともに、電話がつながりにくい状況の軽減につなげ、区民サービス向上を図ります。（4月～5月、3月）</p> <p>（４）保険年金課受電の混雑対策 繁忙期で来庁者及び入電数が増加する時期に、電話回線を増設するとともに業者に電話対応の一部等を委託することで、電話がつながりにくい状況の軽減につなげ、区民サービス向上を図ります。（6月～8月）</p>	<p>窓口繁忙時の転出入窓口増設 （2窓口→3窓口） 実施時期：4月～5月（11日間） 電話対応（延べ）：4,541件（41日間、平均111件／日）</p> <p>回線増設日の受電数：延べ2,841件 うち増設回線の受電数 1,159件 回線増設日：27日（うち研修2日含む） （6月：国保介護対応 約85件／日、 7～8月：後期・各医療証・資格確認書等対応 約124件／日） （増設日：6/12～30、7/16～31、8/1～5のうち土日祝を除く）</p>

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
6 利用しやすい区役所づくり事業 総務課	
<p>安全で快適な区庁舎や区民利用施設の環境整備を図り、区民が利用しやすい区役所づくりを推進します。</p> <p>区庁舎等の環境整備 区庁舎及び区民利用施設の設備、備品の更新、庁舎等の環境整備を行います。</p>	
4 いつまでも愛着を持って暮らせるまち	
1 広報・広聴事業 区政推進課、戸籍課	
<p>区政情報や区の魅力について、迅速・正確に「伝わる」情報発信を行います。区民の皆様に向けた最前線の広報拠点として、市の重要施策についても、積極的に発信していきます。</p> <p>（１）ガイドマップ作成事業 青葉区の行政情報、地域情報及び施設情報を分かりやすく掲載したガイドマップを作成し、紙媒体及び電子媒体の両方で提供します。 ・作成時期：3月 ・作成部数：6,000部</p> <p>（２）転入者向け情報提供事業 青葉区ガイドマップや防災マップ等、市政・区政情報をまとめて提供することで、地域の活動やイベント等への参加を通じ、新たに青葉区に住む方の郷土意識の醸成を目指します。マップ等の封入作業は障害者就労施設に委託します。また、市政・区政情報をデータでも提供できるようホームページを案内するチラシも配布します。 ・配布部数（紙のチラシセット）：3,000部</p> <p>（３）マスコットキャラクター活用事業 青葉区マスコットキャラクター「なしかちゃん」の着ぐるみの貸出しやグッズの活用等を通じて、区民の皆様が青葉区に親しみを抱く機会の創出につなげます。</p>	<div data-bbox="1081 779 1444 1036" data-label="Image"> </div> <p>青葉区 ガイドマップ</p> <p>配布部数：748部 （7月11日現在）</p> <p>着ぐるみ貸出し件数：6件 イラスト申請件数：5件</p>

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
<p>（４）その他広報・広聴事業 区民の皆様のご意見等を区政に反映し、必要な情報を発信するとともに、区民の皆様に向けた最前線の広報拠点として、市の重要施策についても、発信していきます。 また、区役所内のシティプロモーション・広報力の向上につなげるため、広報研修を実施します。</p>	<p>内容：広報デザイン研修（区職員向け） 実施日：8月19日 参加者：16人</p>
<p>2 青葉区民まつり事業 地域振興課</p>	
<p>ふるさと意識の醸成と地域活動の促進を目的に、地域間での連携と情報共有が図られる区民参加型のまつりを支援します。また、当該イベントを通じて、地域団体の企画力・実行力を向上させるとともに、地域のさらなる活性化を図るための支援を行います。</p> <p>（１）青葉区民まつり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：11月3日（月・祝） ・実施内容：テーマに沿った展示や地元団体等による模擬店、スポーツ体験コーナー、 小中学生による演奏・演技 ・参加団体：区内小中高等学校、自治会・町内会、商店会、ボランティア団体、民間企業等 ・開催場所：青葉区総合庁舎周辺 <div data-bbox="226 1050 625 1318">  </div> <p>第二駐車場特設ステージ</p> <div data-bbox="741 1050 1102 1326">  </div> <p>第一駐車場出店テント</p>	<p>運営委員会開催（2回） 5月、7月</p>

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
3 花と緑があふれる街事業 地域振興課	
<p>花と緑があふれ潤いのある街づくりを進めるため、緑化ボランティア「あおば花と緑のサポーター」の活動を支援するとともに、花壇づくりの技術向上やボランティアへの参加を促すことを目的とした研修会を開催します。GREEN×EXPO 2027 を契機とし、「あおば花と緑のサポーター」の活動の広がりを目指します。</p> <p>（1）ボランティア育成事業 研修会を開催し、ボランティアのスキルアップやボランティアへの参加促進を図ります。 研修会開催 ・実施回数：年2回</p> <p>（2）ボランティア支援事業＜拡充＞ 地域の緑化ボランティア活動を支援し、花と緑があふれる住みやすい街づくりを目指します。 ア 花苗・肥料等配付 ・実施回数：年2回 イ GREEN×EXPO 2027 に向けた機運醸成を図る活動支援</p>	<p>配付団体数：22 団体（6月）</p>
4 青葉区における都市農業の展開 区政推進課	
<p>青葉区の特色である農業を生かして将来にわたり魅力あるまちを目指すため、GREEN×EXPO 2027 開催を契機に、青葉区における都市農業への理解促進や情報発信、地産地消の推進に取り組みます。</p> <p>（1）農あるまちづくり推進事業 農業者との意見交換等を通じ、区内の都市農業の状況を把握するとともに、都市農業の魅力発信や理解促進、農に関するPRを行い、区民の皆様の関心を高め、農あるまちづくりを推進します。 ・都市農業の魅力や理解促進に関する情報発信 実施時期：通年</p>	<p>Xによる情報発信：1回（8月）</p>

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
<p>（2）あおば地産地消推進事業 区役所でのあおばマルシェの開催等により、区民の皆様に青葉区の農を身近に感じていただき、地産地消への関心を高め、理解を深めることで、地域の活性化や愛着につなげます。また、みどり環境局とも連携し、地産地消の推進につながる情報発信・PRを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あおばマルシェ 実施回数：月1回 実施場所：青葉区役所1階（区民ホール） <p>（3）農を身近に感じる事業 青葉区の魅力のひとつである寺家ふるさと村等で、寺家ふるさと村の活性化に取り組むみどり環境局とも連携し、ガイドウォーキングを開催し、区民の皆さまに横浜の都市農業や地産地消など農業に関する情報を知り、考える機会を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：11月頃 	<p>実施回数：5回（4月～） 出店者数（延べ）：28店舗</p>
<p>5 メディアによる広報事業 区政推進課</p>	
<p>区民の皆様に向けた最前線の広報拠点として、区政情報や市の重要施策等を分かりやすく発信するため、動画作成を行います。</p> <p>また、青葉区を放送エリアとするコミュニティFMラジオ及びケーブルテレビ等を活用した情報提供を行います。</p> <p>各種広報媒体の特性を生かし、区民の皆様のニーズに合わせた多様な情報収集手段を提供することで、必要な情報を迅速・正確に伝えとともに、青葉区の魅力を広く発信します。</p> <p>（1）FMによる行政情報等の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報番組「あおバリューRadio」 生放送 月～金曜日 11：00～11：20、再放送 月～金曜日 18：30～18：50、 ダイジェスト土・日曜日 9：00～9：30 ・多言語放送「あおバリューRadio(多言語版)」月～金曜日18：50～18：55 ・防災番組「防災あおば」月～金曜日11：20～11：25 <p>（2）CATVでの行政情報番組放映等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あおバリューTV from 丘の横浜」 月～金曜日 18：45～18：55、土曜日 12：40～12：50 	<p>放送テーマ： 4～6月「みんなで目指す まちの美化」 7～9月「ふらっと行って、ほっこり。青葉区の親子の居場所」</p>

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
<p>（3）FM++（アプリ）を活用した情報発信 FM サルーススマートフォンアプリ「FM++（エフエムプラプラ）」を活用し、防災情報をタイムリーに発信するとともに、区のイベント等に関する情報を広く区民の皆様に届けます。</p>	<p>発信件数：190 件 （災害・気象情報等）</p>
<p>5 将来の世代にわたり安全・安心に暮らせる持続可能なまち</p>	
<p>1 郊外部における脱炭素化の促進 区政推進課</p>	
<p>脱炭素社会を推進するため、キャンペーンやイベント、環境出前授業などを通じて、幅広い世代に効果的に広報し、区民の行動変容を促します。</p> <p>（1）移動における脱炭素化促進キャンペーン 日常で取り組める脱炭素化の取組としてシェアサイクルのポート設置を進めるなど、郊外部の移動における脱炭素化に向けたPRを行います。</p> <p>（2）脱炭素化促進イベント 「環境」をテーマに掲げる「GREEN×EXPO 2027」関連イベントや、区内で行われるイベントなどで、脱炭素化につながる身近な取組などを紹介し、区民の行動変容を促します。 ・実施時期：～3月</p>	<p>・郊外部の移動に関する行動変容を目的とした「青葉区の縁(ふち)めぐりデジタルスタンプラリー」 ・シェアサイクル利用促進に向けた「あおばシェアサイクルチャレンジ」 ・実施期間：9/13～11/24</p> <p>・第1回実施日：6月8日 実施場所：青葉台東急スクエア 実施内容：環境月間イベント「青葉台東急スクエアでサステナブルアクション！！」でブース出展し、脱炭素化についての啓発</p>

事業名及び事業内容（事業費：千円）

執行状況（8月31日時点）



ペロブスカイト太陽電池の展示
（青葉区民まつり）



脱炭素行動を宣言してパネルにシールを貼
付する様子（あおばを食べる収穫祭 2024）

環境に関する展示などを実施（GREEN×EXPO
2027 開催 1000 日前連携イベント）

（3）環境出前授業＜新規＞

区内市立小学校向けにペロブスカイト太陽電池を用いた環境出前授業を実施し、子どもの学びを通じて、家庭、社会全体の行動変容につなげていくことを目指します。

- ・実施校数：8校
- ・授業のレジュメを要約した冊子を作成




ペロブスカイト太陽電池の説明の様子

実施校数：1校（7月15日実施）

応募数：2校

授業の内容をまとめた冊子（A4、8ページ）を作成し、7月の授業から配付

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
<p>コラム GREEN×EXPO 2027 の機運醸成</p> <p>GREEN×EXPO 2027 開催まで2年を切る令和7年度は、開催の認知を拡大していくとともに、来場・参加意欲を高める働きかけにも取り組んでいく必要があります。</p> <p>青葉区においては、節目のイベント開催や、花・緑・農・環境に関する事業をはじめ区内で行われる行事等でのPRをさらに強化し、GREEN×EXPO 2027 のコンテンツなどの情報発信を通じて、関心層の拡大を図ります。</p>	
<p>2 青葉まちの美化推進事業 地域振興課</p>	
<p>脱炭素社会の実現とSDGsの達成に資するプラスチック対策や食品ロス削減等を進めるとともに、地域の自主的な美化活動への支援等により、清潔できれいなまちづくりを推進します。</p> <p>（1）街の美化推進事業</p> <p>清潔できれいな街づくりを推進するため、地域の自主的な美化活動の支援と不法投棄防止に向けた取組を行います。また、補助金交付により、各連合自治会の美化推進活動を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動用バイオマス素材のごみ袋支援（実施時期：通年） ・区民参加型クリーンアップイベント「クリーンウォーク」の実施（2回） ・「青葉まちの美化推進事業補助金」交付（8月） ・青葉まちの美化推進功労者表彰（11月） ・放置自動車及び不法投棄防止対策会議（4回） <p>（2）3R推進事業</p> <p>7年度から全区展開されたプラスチックごみの分別拡大の定着を始めとしたプラスチック対策や食品ロスの削減、3R推進の啓発等を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源循環局と連携した商業施設や駅頭等での啓発・キャンペーンの実施（通年） ・プラスチック資源に関する親子向けの啓発講座の実施（8月） ・食品ロス削減啓発イベントの実施（10月） ・「あおばフードドライブ大作戦」の実施（10月） <p>実施場所：区民利用施設、青葉区役所、資源循環局青葉事務所</p>	<p>ごみ袋支援 配付枚数：5,220枚 配付団体数：19団体 補助金8月交付 対策会議 開催回数：1回 開催時期：5月19日</p> <p>出前講座・説明会等 実施場所（回数）：自治会町内会等（15回） 実施場所（回数）：小学校等（6回） 啓発・キャンペーン ①駅頭啓発 開催時期：5月28日 実施場所：あざみ野駅</p>

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
<ul style="list-style-type: none"> ・フードドライブの受付（通年） ・「あおば区民文庫ボックス」を活用した資源の有効活用及び読書推進（通年） 	<p>②プラスチック削減啓発 開催時期：6月8日 実施場所：青葉台東急スクエア 参加者数：143名 啓発講座（夏休み3R教室） 開催時期：8月9日 実施場所：青葉区役所 参加者数：19人 フードドライブ 受入数：298点 あおば区民文庫ボックス 受入数：8,172冊</p>
<p>3 地域防犯支援事業 地域振興課</p>	
<p>防犯グッズの貸与による、地域の自主的な防犯活動への支援にあわせ、警察との連携による特殊詐欺対策や広報等を活用した啓発により、区民の皆様の防犯に対する意識向上を図り、安全で安心なまちづくりを推進します。</p> <p>（1）区民の防犯意識向上のための啓発事業</p> <p>警察との連携による特殊詐欺対策や広報等を活用した防犯に関する啓発を実施します。</p> <p>ア 警察と連携した特殊詐欺対策機器貸与事業の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：通年 <p>イ 青葉区犯罪発生情報メール送信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：通年 <p>ウ 「広報よこはま青葉区版」による啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：10月、12月 <p>エ 「あおバリューRadio」による啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：10月又は12月 <p>オ 安全・安心まちづくり旬間出陣式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：10月 	<p>電話録音装置貸与 貸与台数：22台 累積台数：223台 犯罪発生情報メール 登録者数：2,967人 配信件数：80件</p>

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
<p>（2）自主的防犯活動支援事業 防犯グッズの貸与により、地域の自主的な防犯活動を支援します。</p> <p>ア 地域の自主的な防犯活動団体に対する防犯グッズの貸与 ・実施時期：通年</p> <p>イ 各地域の防犯パトロールへの参加 ・実施時期：通年</p>	<p>のぼり旗・防犯ベスト等の貸与 配付団体数：26 団体 防犯パトロール 参加回数：2 回</p>
4 交通安全対策事業 地域振興課	
<p>区内の交通事故減少、交通マナーの向上を目指し、広報活動や交通安全教室、交通安全ポスターコンクール等を実施することで、交通安全・マナーの意識啓発を図ります。また、地域と連携し、スクール・ゾーン路面標示の設置・補修を行います。</p> <p>（1）青少年交通安全教育推進事業＜拡充＞ 児童・生徒が交通事故に遭わないような気付き、きっかけ作りにつながる啓発リーフレットを作成し、区内小学校・中学校へ配布します。また、青葉交通安全協会が実施するランドセルカバー制作費への一部負担を行うほか、警察等関係者と共に交通安全教室を開催するなど、広く交通安全啓発を行います。</p> <p>ア 啓発リーフレット配布 ・実施時期：6月～7月 ・配布対象：青葉区内の市立小学2・4・6年生及び中学2年生 ・作成部数：約10,000部</p> <p>イ 新1年生向けランドセルカバーの制作費一部負担 ・納品時期：3月</p> <p>ウ はまっ子交通安全教室の実施 ・対象：区内小学校30校（このうち、開催を希望する小学校のみ実施）</p> <p>（2）スクール・ゾーン対策協議会 児童の登下校時の安全を守るため、通学路の危険箇所の調査点検等を行う小学校スクール・ゾーン対策協議会への活動助成及び路面表示等の設置、補修等を行います。</p>	<p>配布時期：7月 配布部数：約10,000部</p> <p>実施済数：23校（開催希望校：28校）</p>

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
<p>ア 助成金の交付 ・時期：6月</p> <p>イ スクール・ゾーン対策協議会を通じた路面表示等の設置、補修等 ・申請時期：6月～7月</p> <p>（3）青葉区交通安全対策協議会 青葉区小学生交通安全ポスターコンクールを行い、交通安全への意識啓発を図ります。また、協議会の総会を通じて区内の交通安全に関する取り組みを共有するとともに、区交通安全功労者の表彰を行います。</p> <p>ア 青葉区小学生交通安全ポスターコンクール ・作品募集：7月～9月 ・表彰式：12月</p> <p>イ 総会・交通安全功労者表彰式の開催 ・実施時期：2月～3月</p>	<p>申請団体数：28団体（対象30団体）</p> <p>申請団体数：20団体（対象30団体） 箇所数：28箇所</p> <p>作品募集期間：7月14日～9月12日</p>
5 青葉区防災の街づくり事業 総務課、福祉保健課、生活衛生課	
<p>区防災計画に基づき、「災害時の防災協定」、「医療救護等の対策」、「災害に強い人づくり」、「避難者対策」、「災害時のペット対策」に取り組み、地域防災力の向上を目指します。</p> <p>（1）地域防災拠点支援事業 地域防災拠点運営機能を強化するための研修等を実施し、拠点で活用する物品の整備を行います。 ・地域防災拠点運営委員会連絡協議会総会 ・地域防災拠点向け研修 ・物品整備</p> <p>（2）区災害対策本部運営事業 区災害対策本部運営用（拠点等へ配備）のスマートフォンの更新を2か年で行います。また、本部運営訓練や職員向け研修等を実施し、災害時の危機管理対応能力の向上を目指すとともに、区の緊急時情報伝達システムを活用した情報伝達訓練を実施します。</p>	<p>総会・研修 実施時期：5月28日</p>

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
<ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンの更新（12月頃） ・新採用職員、青葉区転入職員等に対する研修（4月・8月） ・緊急時情報伝達訓練（自治会・町内会等対象：7月～3月） ・震災時初動対応訓練（区職員対象：9月） ・防災協定機関合同訓練（通年） ・区災害対策本部運営訓練（区職員対象：1月） 	<p>新採用職員、青葉区転入職員向け研修 実施時期：4月14日</p> <p>地域防災拠点動員者向け研修 実施時期：8月19日、22日</p> <p>緊急時情報伝達訓練 実施時期：7月8日</p>
<div> <div>再配当事業</div> <div> 青葉区庁舎浸水対策事業（市民局） 大雨等による区庁舎への水の流入を防ぐため、止水板・止水壁の設置等の対策工事を行います。 （予定工期：令和7年度～令和9年度） </div> </div>	
<p>（3）防災啓発事業</p> <p>区民への防災啓発として、区内の小中学校を対象に、災害時の避難行動計画について考えるマイ・タイムラインの作成講座を行います。また、転入者等に配布するため、「青葉区民防災必携（横浜市浸水ハザードマップ）」を更新します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイ・タイムライン作成講座（20校：5月～3月） ・「青葉区民防災必携」の更新（作成部数15,000部） 	<p>実施校数：8校 （小学校5校、中学校3校）</p>
<div> <div>再配当事業</div> <div> 区民向け防災講演会（総務局） 学校法人桐蔭学園と青葉区による防災講演会を開催します。 ドキュメンタリー映画の上映会や監督らによるパネルディスカッション等を通じて、自助・共助の大切さを考える講演会です。 実施日：令和7年10月19日（日） 場 所：青葉公会堂 </div> </div>	
<p>（4）災害時医療体制整備事業</p> <p>区内で震度6弱以上の地震が観測された場合、12か所の「定点診療拠点」を開設し、身近な場所で軽症者が応急医療を受けられるよう物品を整備します。また、青葉区の災害医療体制を充実するため、医師会等との連絡会や各種訓練会等を開催するほか、関係者間で開設・運営について検討するなど、定点診療拠点の体制の整備・充実を進めます。</p>	

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
<p>ア 防災物品整備・更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期：1月～3月 ・購入物品：定点診療拠点における応急医療関係物品 保健活動グループ巡回時に携帯する医療用品 <p>イ 災害医療連絡会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期：3月 ・構成メンバー：医師会、歯科医師会、薬剤師会、 災害拠点病院 昭和大学藤が丘病院、災害時協力病院（7病院）、 横浜市アマチュア無線非常通信協力会青葉区支部、イツコム・FMサルース、 青葉警察署、青葉消防署、青葉区災害医療アドバイザー <p>（5）災害時のペット対策事業</p> <p>災害時のペット対策を推進するため、飼い主への周知啓発を実施します。また、地域防災拠点でペット受入れのルール化に向けた働きかけや支援を実施します。</p> <p>ア 飼い主向け啓発</p> <p>災害時に向けて日頃の備えに関する啓発を窓口、ホームページや広報紙を活用して実施します。</p> <p>（ア）災害時のペット対策ノート（仮称）の作成</p> <p>6大学連携を行っている青葉区の特徴を活用し、区内の大学と連携して作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成時期：12月 ・作成部数：2,000部 ・活用方法：窓口や区内動物病院、拠点訓練等での配布、区HPへの掲載等 <p>（イ）窓口展示コーナーへの防災物品等展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：通年 <p>（ウ）展示スペースでのパネル展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：9月 <p>（エ）広報よこはま青葉区版掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：9月号 <p>（オ）狂犬病予防注射集合会場での啓発【再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：4月 	<p>実施回数：4回 チラシ配布部数：540枚</p>

事業名及び事業内容（事業費：千円）	執行状況（8月31日時点）
<p>イ 地域防災拠点等への取組支援・啓発</p> <p>ペット同行避難を推進するため、地域防災拠点運営員会総会で災害時のペット対策に関する説明を行います。また、各拠点運営委員会や拠点訓練等において、一時飼育場所開設支援キットを用いた飼い主の受付方法や、同行避難訓練等について支援を行います。</p> <p>(ア) 地域防災拠点運営委員会総会での説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：5月 <p>(イ) 各拠点運営委員会や拠点訓練における支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：6月～3月 ・実施内容：物品の貸出、資料の配布、訓練での説明等 <p>(エ) 支援キット追加物品の配布、交換等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：6月～3月 	<p>実施日：5月28日 出席者：87人（41拠点）</p>
<div data-bbox="180 740 730 776"> コラム 令和7年度横浜市総合防災訓練の実施 </div> <p>横浜市では、市民や防災関係機関の連携強化と地域防災力の向上を目的に、毎年度、各関係機関と連携した「横浜市総合防災訓練」を実施しています。令和7年度は青葉区を会場として実施します。</p> <p>実施日時：令和7年9月28日（日）9時00分～12時00分（予定） 実施場所：谷本公園（横浜市青葉区下谷本町31番地10）</p>	

令和8年度 青葉区予算編成の基本的な考え方(案)

青葉区は、計画的に整備された美しい街並みや豊かな自然に恵まれ、地域活動をはじめ、さまざまな活動が活発に行われている魅力にあふれたまちです。令和7年6月に実施した区民意識調査では、前回同様8割の方から、暮らしやすい、区に愛着や誇りを感じている、住みつづけたい とお答えいただいています。一方で、令和6年3月に発表された「横浜市将来人口推計」では、青葉区も人口減少の局面を迎えており、令和10年には横浜市全体の高齢化率を上回るとされています。さらに令和4年以降の人口動態は社会減となっています。

区民意識調査も踏まえ、今後も青葉区が活力を維持していくためには、区民の皆様暮らしやすさやまちへの愛着をさらに感じていただくとともに、区外の方にとっても魅力的で選ばれるまちづくりを進めていく必要があります。

このような課題認識のもと、「住みつづけたい・住みたいまち 青葉」であり続けるよう、区民の皆様とご一緒に、事業・取組を進めていきます。

令和8年度青葉区個性ある区づくり推進費予算は、創造と転換を理念とした事業のスクラップ＆ビルドの検討を進め、併せてデジタルプラットフォームでの意見など区民ニーズの掘り起こしを行いながら編成します。引き続き、事業目的や効果を示すアウトカム指標を設定し、データに基づく効果検証による事業の改善に取り組めます。

< 予算の柱(案) >

◇安心して出産や育児ができ、子どもたちの未来を創るまち

誰もが安心して出産や子育てができ、未来を担う子どもたちが社会との関わりの中で健やかで意欲的に成長できる環境づくりを進めます。

◇健やかに暮らし、いきいきと活躍できるまち

誰もが自分らしく、安全で健やかに暮らすことができるよう、地域での支え合いを支援するとともに、いくつになっても生きがいや役割を持って活躍するための取組を進めます。

◇便利で魅力的な選ばれるまち

区内事業者や大学などと連携し、地域課題の解決や魅力の創造に取り組むことで、暮らしやすく便利で魅力的なまちを実現します。また、田園都市線開通から約60年が経過することから、将来に向けたまちづくりの検討に取り組めます。

◇いつまでも愛着を持って暮らせるまち

花・緑・農等、青葉区が誇るさまざまな特色を生かしてGREEN×EXPO 2027を盛り上げていきます。また、地域の魅力を感じてもらえる取組を通じて、いつまでも愛着を持って暮らせるまちを目指します。

◇将来の世代にわたり安全・安心に暮らせる持続可能なまち

市民生活に不可欠なインフラを適正に維持していくことに加え、環境に優しく、災害に強く、防犯力の高い、将来の世代にわたって安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。